

建設部

# 建設総務課

課長 前澤 弘一

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	0810000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	県有料道路通行料金負担軽減事業
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進
5つの重点目標		5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略			②高次広範の観光戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	県有料道路通行料金負担軽減事業

<事業の狙い>

事業計画年度

H28～

三才山トンネルの無料化予定年度(平成32年夏頃)までの間に、時間帯割引制度を導入し、トンネルを利用する市民の経済的負担軽減を図るもの  
なお、平井寺トンネルは、平成30年8月25日に無料化となりました。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

(概要)  
県が制定した「長野県有料道路利用者負担軽減事業実施要綱」に基づき、「時間帯割引回数通行券」を市が購入し、市民に販売するもの  
(事業内容)  
県道路公社から市が通行券を購入 (6割)  
市の購入実績に応じて県が県道路公社へ負担額を支払う (2割)  
市が利用者に割引いて販売 (5割)

<現状に対する認識>

当初、三才山トンネル無料化は、平成33年6月の予定でありましたが、長野県議会平成30年2月定例会において阿部知事が、「平成32年夏頃までに一般道路化することが可能」と発言しました。そのことから、松本市としましては、県議懇、市長会等、機会を捉えて県知事発言の「平成32年夏頃までの無料化」の実施を要望していきます。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	県が実施する事業に対して、市が一部を負担し実施しているため、目標値の設定はできない。				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	44,061		42,400		38,720		43,390			
国・県										
利用者負担金	34,830		34,180		30,862		36,150			
その他										
一般財源	9,231		8,220		7,858		7,240			
② 人件費(千円)	3,845	人工	3,795	人工	3,775	人工		人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,775	0.5				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	47,906		46,195		42,495		43,390			
前年度比	—		96.4%		92.0%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	0810000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	登記事務
-------	------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	登記事務費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

- ・未登記市道の解消を図る。
- ・登記委託することにより、事務及び経費の効率が図れる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- ・未登記道路について、地権者からの寄付を前提に分筆測量を実施し、所有権を市へ移転する。
- ・他課からの依頼による公有財産取得に伴う用地交渉や囑託登記事務事業
- ・松本市土地開発公社登記事務委託をし、適正な公共事業用地等を確保するために、市の公有財産取得に伴う所有権移転登記を行う。

<現状に対する認識>

- ・未登記道路は立会い等に伴い発見されるため、業務量を事前に予測することは難しく、年度によって業務量の増減があるので、柔軟な対応が必要。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	未登記道路は、発生してからの対応となるため、目標値の設定が困難				
指標の設定理由	登記事務は、他課からの依頼によるもののため、目標値の設定が困難				
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	4,350		9,290		13,120		8,580			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,350		9,290		13,120		8,580			
② 人件費(千円)	15,380	人工	15,180	人工	15,100	人工		人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2				
囑託	0		0		0					
合計コスト①+②	19,730		24,470		28,220		8,580			
前年度比	—		124.0%		115.3%		—			

事務事業評価票

事務事業名	松本波田道路推進事業
-------	------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	松本波田道路推進事業費

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み		○中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	28～38
松本波田道路の利便性向上及び地域活性化(企業立地、雇用の創出、周辺道路の渋滞緩和、緊急ネットワークの強化)を図るもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
・追加インターチェンジの設置検討 H30 追加インターチェンジ 2か所(和田、新村)設置方針決定 H30 予備設計 R02 詳細設計 土質調査 R03～ 用地測量・補償算定 R05～ 整備工事

＜現状に対する認識＞
・追加インターチェンジの設置に関する、松本波田道路への連結許可申請に向けた、国・県との協議を進める。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	追加インターチェンジ設置事業進捗率(活動指標)				
指標の設定理由	成果は、供用後に発生するため、活動指標を目標値とする。				
目標値	2%	2%	3%	12%	15%
実績値	2%	2%	4%		
達成度	100%	100%	136%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)		7,992	0	7,020			
	国・県						
	利用者負担金						
	その他						
	一般財源	7,992	-	7,020			
② 人件費(千円)	6152	人工	6,072	人工	6,040	人工	
	正規	6152	0.8	6,072	0.8	6,040	0.8
	嘱託	0	0	0			
合計コスト①+②		14,144	6,072	13,060	0		
前年度比		-	42.9%	215.1%	-		

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	0810000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	負担金 (道路建設及び整備)
-------	-------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進
5つの重点目標		5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略			②高次広範の観光戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

利便性の向上のため、国・県事業の促進を図ることを目的に各種同盟会等を窓口として、国・県へ事業の進捗を働きかけるもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

道路の建設及び整備を促進するため、国、県等への要望活動を実施しています。

本市が事務を担当する同盟会等は以下のとおりです。

- 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路建設促進期成同盟会
- 中部縦貫自動車道(松本～中ノ湯間道路)建設・国道158号整備促進期成同盟会
- 中部縦貫自動車道建設促進長野・岐阜連絡協議会
- 松本・佐久地域高規格道路建設促進期成同盟会
- 国道143号整備促進期成同盟会
- 国道19号松本拡幅建設促進連絡協議会
- 主要地方道奈川木祖線整備促進期成同盟会
- 長野県道路整備期成同盟会松塩筑地区会

<現状に対する認識>

更なる事業進捗が図れるよう国・県への要望活動を実施していきます。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	利便性の向上のため、国・県事業の促進を図ることを目的とした活動へ負担しているものであるが、事業主体の国・県から目標値が示されないが、指標の設定が困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,067		875		846		1,020			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,067		875		846		1,020			
② 人件費(千円)	26,915	人工	26,565	人工	26,425	人工		人工		人工
正規	26,915	3.5	26,565	3.5	26,425	3.5				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	27,982		27,440		27,271		1,020			
前年度比	—		98.1%		99.4%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	0810000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	補助金(国道19号)
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進
5つの重点目標		5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略			②高次広範の観光戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

国が行う国道19号松本拡幅事業に対して、市の関連事業及び地元調整を行い事業の推進を図ります。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

民間団体と連携して、国道19号の円滑な事業促進を図るため、補助金を交付し、地元協議会が行う研究、調査、地元調整等の活動を支援しています。

<現状に対する認識>

・国道19号は、松本市の幹線道路の骨格を担っている、また、複雑な権利関係が多い路線でもあるため、地元協議会と引き続き連携しながら事業促進を図る。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業進捗を図るための活動への補助金であるが、事業主体の国から目標値が示されないため、指標の設定が困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	350		350		350		310			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	350		350		350		310			
② 人件費(千円)	10766	人工	10,626	人工	10,570	人工		人工		人工
正規	10766	1.4	10,626	1.4	10,570	1.4				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	11,116		10,976		10,920		310			
前年度比	—		98.7%		99.5%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	0810000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	交付金 (中部縦貫自動車道建設事業)
-------	-----------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進
5つの重点目標		5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	交付金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

国が行う国道及び高規格道路等の幹線道路の事業に対して、市の関連事業及び地元調整を行い、事業の推進を図ります。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

地元4地区が設置する対策委員会で行う研究、調査、地元調整等の活動を支援することにより、中部縦貫自動車道建設事業の円滑な促進を図るため、交付金を交付しています。

- (1)鳥立地区中部縦貫自動車道対策委員会
  - (2)和田地区中部縦貫自動車道対策委員会
  - (3)新村地区中部縦貫自動車道対策委員会
  - (4)波田地区中部縦貫自動車道対策委員会
- ただし、補助金交付実績は波田地区のみ

<現状に対する認識>

・中部縦貫自動車道(松本波田道路)の事業促進を図るため、地権者を含めた地元対策を進めていく。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業の円滑な促進を図るため、地元で交付しているものであるが、事業主体の国から目標値が示されないため、指標の設定が困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	200		100		100		400			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	200		100		100		400			
② 人件費(千円)	9,228	人工	9,108	人工	9,060	人工		人工		人工
正規	9,228	1.2	9,108	1.2	9,060	1.2				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	9,428		9,208		9,160		400			
前年度比	—		97.7%		99.5%		—			



事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	0810000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	負担金 (県の道路事業県管理道路)
-------	----------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

県管理道路(国、県道)について、主要都市間道路ネットワークの整備により、渋滞対策、快適性、安全性の確保及び歩行者、自転車の安全対策等を図り、将来世代につなぐ総合的な道路整備を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

県が行う道路改良事業について、円滑な事業推進が図られるよう、関係者等との調整を行う。  
道路法第52条により、県が行う街路の新設または改良する費用の一部を市町村で負担するもの。

対象路線

- (1) (都)内環状南線
- (2) (都)出川双葉線
- (3) (都)松本駅北小松線
- (4) (都)宮渕新橋上金井線

<現状に対する認識>

経済、文化、生活の基盤である街路整備の更なる促進に期待するものです。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	県が行う事業費用の一部を負担するものだが、県から目標値が示されないため、指標の設定が困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	83,588		139,203		65,364		131,150			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	83,588		139,203		65,364		131,150			
② 人件費(千円)	10,766	人工	10,626	人工	10,570	人工		人工		人工
正規	10,766	1.4	10,626	1.4	10,570	1.4				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	94,354		149,829		75,934		131,150			
前年度比	—		158.8%		50.7%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	0810000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	負担金 (国、県の河川、砂防事業)
-------	----------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み			○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

河川の増水や土石流などの災害の発生を未然に防ぎ、住民を洪水災害から守るため。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

国・県の砂防・河川事業の円滑な事業推進が図られるよう関係者等の調整を図ります。また、河川・砂防の建設及び整備を促進するため同盟会を窓口とし、国・県等への要望活動を実施しています。

- 1 犀川・梓川流域の砂防事業
- 2 奈良井川流域の河川整備事業
- 3 同盟会
  - (1) 奈良井川水系河川改良促進期成同盟会
  - (2) 長野県治水砂防協会松塩筑支部
  - (3) 信濃川・姫川水系砂防工事促進同盟会
  - (4) 犀川直轄改修期成同盟会

<現状に対する認識>

砂防、河川事業は、河川環境の改善、防災・減災の観点から重要な事業であるため、今後も、国・県に積極的な要望を継続していきます。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	河川・砂防事業を促進するための事業であるが、事業主体の国・県から				
指標の設定理由	目標値が示されないため、指標の設定が困難				
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	970		1,486		964		1,870			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	970		1,486		964		1,870			
② 人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工	3,020	人工		人工		人工
正規	3,076	0	3,036	0.4	3,020	0.4				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	4,046		4,522		3,984		1,870			
前年度比	—		111.8%		88.1%		—			

# 上高地対策課

課長 牧羽 文武

**事務事業評価票**

部局名	建設部	課名	上高地対策課	課CD	08120000
-----	-----	----	--------	-----	----------

事務事業名	上高地対策事業
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
主な取組み			○北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
5つの重点目標		5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略			②高次広範の観光戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	上高地対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

27～35

日本を代表する山岳景勝地である上高地において、自然環境や景観の保全を図りつつ管理用道路等を適切に整備することにより、将来に渡って全ての利用者が安全で安心して訪れることができる山岳観光地の形成を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- ・徳沢、横尾地区への管理用道路整備の調査設計  
 新村橋～徳沢 L=1,000m  
 新村橋～横尾 L=3,000m
- ・新村橋付近における恒久的な車道橋整備の計画調査  
 車道橋 L=70m
- ・徳沢～横尾地区への電源供給施設、光ファイバーケーブル敷設の計画調査
- ・管理用道路整備計画策定のための環境調査(冬季)
- ・文化財保護法や自然公園法等に基づく許認可に係る関係行政機関協議

<現状に対する認識>

- ・上高地は特別名勝及び特別天然記念物、国立公園の特別保護地区等に指定されているため、綿密な調査と計画策定、許認可関係機関との協議が必要
- ・地形的特徴を踏まえたうえで、上高地の本質的価値に与える影響が最も軽微であるよう、科学的根拠に基づく計画策定が必要
- ・地元や自然保護関係者等の理解を得ることが必要 ・財源確保が必要

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	上高地対策事業進捗率(活動指標)				
指標の設定理由	成果は、供用後に発生するため、活動指標を目標値とする。				
目標値	1%	4%	8%	27%	59%
実績値	1%	3%	5%		
達成度	92.8%	78.7%	53.6%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	12,182		28,701		14,931		28,330			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	12,182		28,701		14,931		28,330			
② 人件費(千円)	6,152	人工	9,108	人工	18,875	人工		人工		人工
正規	6,152	0.8	9,108	1.2	18,875	2.5				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	18,334		37,809		33,806		28,330			
前年度比	—		206.2%		89.4%		—			

# 都市政策課

課長 桐沢 明雄

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	許認可事務(都市計画法第53条の許可、地区計画他)
-------	---------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

良好な都市環境、秩序ある市街地の形成を図るため、必要な許認可を行い合わせて指導、助言する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

都市計画法第53条	13件
都市計画法第58条	9件
都市計画法第58条の2	52件
建築計画協議	285件
都市計画証明	53件
立地適正化計画	2件
開発協議	34件
開発審査会	4件
大規模小売店舗立地法	1件
国土利用計画法	15件
公有地拡大法	8件
農振除外事前協議	0件
空き家	17件
建築審査会	0件

申請に対し適切な審査・指導・助言を行う

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	対応件数(許認可業務のため目標設定は不適切)				
指標の設定理由					
目標値					
実績値	535	535	472		
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		0		0					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源										
② 人件費(千円)	4,438	人工	4,236	人工	3,844	人工		人工		人工
正規	4,153	0.54	3,947	0.52	3,549	0.47				
嘱託	285	0.1	289	0.1	295	0.1				
合計コスト①+②	4,438		4,236		3,844		0			
前年度比	—		95.5%		90.7%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	窓口、電話対応事務
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

良好な都市環境、秩序ある市街地の形成を図るため、都市計画に係る問合せや相談に対応する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

問合せ、相談

<現状に対する認識>

問合せ及び相談等に対し適切な対応を行う。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	対応件数(相談業務のため目標設定は不適切)				
指標の設定理由					
目標値					
実績値	1,760	1,775	1,452		
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		0		0					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源										
② 人件費(千円)	4,107	人工	4,297	人工	4,743	人工		人工		人工
正規	3,537	0.46	3,719	0.49	4,153	0.55				
嘱託	570	0.2	578	0.2	590	0.2				
合計コスト①+②	4,107		4,297		4,743		0			
前年度比	—		104.6%		110.4%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	都市計画策定事業(基本図更新)
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取組み	
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H19~

計画的土地利用による快適な都市の形成をめざすため、測量法に基づき、都市計画の基本となる松本市基本図の更新整備を行う。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松本市内を分割し定期的に基本図の修正を行う。  
庁内用の都市計画図を作成するとともに頒布を行う。

<現状に対する認識>

--

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地図更新面積				
指標の設定理由	計画的更新が必要であるため。				
目標値	45.00	45.12	51.01	46.42	23.11
実績値	45.00	45.12	51.01		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	18,299		16,848		18,014		13,000			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	18,299		16,848		18,014		13,000			
② 人件費(千円)	1,846	人工	1,594	人工	1,284	人工		人工		人工
正規	1,846	0.24	1,594	0.21	1,284	0.17				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	20,145		18,442		19,298		13,000			
前年度比	—		91.5%		104.6%		—			



事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	都市計画策定事業 (村井駅周辺整備)
-------	-----------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			〇次世代交通政策の可視化・具現化
5つの重点目標	4	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑥		コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

交通結節点であるJR村井駅や周辺地域における交通利便性・快適性を高め、徒歩や自転車で自由に移動できる、安全で安心なまちづくりを実現するため交通環境改善計画を策定する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

自由通路及び駅施設整備のため、関係機関及び地元部会と協議を進める。アクセス道路など、駅周辺整備について関係機関及び地元部会と協議を進める。  
平成29年度に基本計画を策定  
平成30年度はJR東日本と協定を締結し東西自由通路と駅舎の基本設計を進めた。

<現状に対する認識>

交通環境を改善するため、駅周辺整備連絡協議会の設置及び県警機関や地元部会との協議により、駅施設や東西駅前広場及びアクセス道路の設計を進める。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	村井駅利用者数(1日当たり平均値)				
指標の設定理由	駅及び周辺施設の利便性向上を図るため				
目標値	3,402	3,552	3,600	3,600	3,600
実績値	3,402	3,552	3,566		
達成度	100.0%	100.0%	99.1%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		28,512		16,261		227,700			
国・県			8,856		2,370		22,130			
利用者負担金										
その他										
一般財源			19,656		13,891		205,570			
② 人件費(千円)	1,615	人工	2,429	人工	4,757	人工		人工		人工
正規	1,615	0.21	2,429	0.32	4,757	0.63				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	1,615		30,941		21,018		227,700			
前年度比	—		1916.0%		67.9%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	都市計画策定事業 (都市計画道路の見直し)
-------	--------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			〇次世代交通政策の可視化・具現化
5つの重点目標			
松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H23~

既存道路ネットワークの有効利用を図り、効率的・効果的な道路整備を行うため都市計画道路の見直しを行う。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

全体道路網及び内環状線構想の定着を図り、都市計画道路見直しによる、都市計画決定の変更を進める。

平成30年度の取組み

都市計画道路4路線の都市計画変更の手続きに着手。

<現状に対する認識>

方針案に基づき庁内調整、関係機関調整を進める。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	都市計画道路の整備率(%)				
指標の設定理由	見直しにより効果的な整備促進を図るため。				
目標値	40.2	40.2	41.0	42.3	46.8
実績値	40.2	41.9	41.9		
達成度	100.0%	104.2%	102.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		4,801		5,122		4,250			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源			4,801		5,122		4,250			
② 人件費(千円)	5,844	人工	5,768	人工	5,738	人工		人工		人工
正規	5,844	0.76	5,768	0.76	5,738	0.76				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	5,844		10,569		10,860		4,250			
前年度比	—		180.8%		102.7%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	都市計画策定事業(空き家対策)
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

近年増加傾向にある空き家について、適切な管理や、発生させにくい環境づくり、利活用の促進を図るため、総合的かつ計画的に取組みを進める「松本市空家等対策計画」を策定する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松本市空家等対策協議会を設置し、松本市空家等対策計画の策定等について協議を行う。  
空家等対策を総合的かつ計画的に実施するため、松本市空家等対策計画を策定  
空家等の総合相談窓口でワンストップによる相談を受け、庁内関連部署と連携により対応を図る。

<現状に対する認識>

空き家・空き地が増加している中で、実態が把握を進める。  
松本市空家等対策計画を策定し、庁内関連部署との連携により、総合的な対策を推進する。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれていると思う市民の割合				
指標の設定理由	まちなみにそぐわない空き家等の整理・利活用を促進するため。				
目標値	80.8	80.8	80.8	80.8	80.8
実績値	80.8	-	79.2		
達成度	100.0%		98.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		0		1,209		170			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源					1,209		170			
② 人件費(千円)	846	人工	2,581	人工	2,567	人工		人工		人工
正規	846	0.11	2,581	0.34	2,567	0.34				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	846		2,581		3,776		170			
前年度比	-		305.1%		146.3%		-			

事務事業評価票

事務事業名	都市計画策定事業費(松本城を中心としたまちづくり:都市再生整備計画)
-------	------------------------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H26~

「松本城を中心としたまちづくり」として、博物館移転と一体となり魅力的で、回遊性に富む賑わいのあるまちづくりのため、地域資源の魅力を活かした都市再生整備計画を策定し、中心市街地の活性化を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

平成30年度を初年度とする「松本城を中心とした都市再生整備計画」を策定エリア内における背景を連携し総合的に整備を進める。

平成30年度は三の丸地区まちづくりを推進するため計画コーディネート業務と土手小路整備に向けた調査設計業務を実施し、松本駅前の賑わい創出に向け公園通り再整備に向けた測量設計を進めた。

<現状に対する認識>

松本城を中心としたまちづくりに向け、一体となったまちのにぎわい創出に向けた取組みや、都市機能の再配置や環境整備が必要。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	
主な取組み		
5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	エリア内歩行者交通量(6月第1日曜10時~19時)				
指標の設定理由	回遊性を向上させ、歩きたくなる空間整備を推進するため。				
目標値	7,142	7,692	8,241	8,790	9,339
実績値	9,110	9,551	5,282		
達成度	127.6%	124.2%	64.1%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,857		8,850		19,394		16,100			
国・県					9,690		6,380			
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,857		8,850		9,704		9,720			
② 人件費(千円)	4,076	人工	4,023	人工	4,002	人工		人工		人工
正規	4,076	0.53	4,023	0.53	4,002	0.53				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	5,933		12,873		23,396		16,100			
前年度比	—		217.0%		181.7%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	松本市都市計画マスタープラン (区域区分見直し・用途地域)
-------	----------------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	
主な取組み		
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

第7回定期線引き見直しに向け、適正かつ計画的な土地利用を誘導・実現するため、区域区分及び用途地域の見直しを行う。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

区域区分、用途地域の見直し。
----------------

<現状に対する認識>

PDCAサイクルを踏まえ、集約型都市構造実現に資する施策の推進を図る。立地適正化計画の方針も踏まえ、将来ビジョンをきめ細かく定め都市計画の基本方針としていく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	周辺の自然や農地とのバランスがとれた開発が行われていると思う市民の割合				
指標の設定理由	松本の目指すまちの姿の実現を促すため				
目標値	50.2	52.7	55.1	57.6	60
実績値	50.2	—	46.7		
達成度	100.0%		84.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		2,268		5,774		6,830			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源			2,268		5,774		6,830			
② 人件費(千円)	1,000	人工	3,036	人工	3,020	人工		人工		人工
正規	1,000	0.13	3,036	0.4	3,020	0.4				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	1,000		5,304		8,794		6,830			
前年度比	—		530.6%		165.8%		—			

事務事業評価票

事務事業名	都市計画審議会
-------	---------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度
都市計画法に基づき各種都市計画に関する調査審議を行う。	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞	
第50回	議題: 松本市立地適正化計画策定に向けた取組み 報告: 今後の松本都市計画変更の予定について ・区域区分定期見直し ・用途地域の見直し ・都市計画道路の見直し
第51回	議題: 松本都市計画用途地域の変更(惣社地区) 松本都市計画地区計画の決定(惣社地区) 報告: 今後の松本都市計画変更の予定について

＜現状に対する認識＞
------------

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	#REF!
-----	-----	----	-------	-----	-------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	#REF!	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	#REF!		主な取組み	
基本施策(個別目標)	331	#REF!		5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	開催回数				
指標の設定理由	都市計画に定めるべき案件の協議のため				
目標値	4	4	4	4	4
実績値	2	2	2		
達成度	50.0%	50.0%	50.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞									
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
① 事業費(千円)	153	144	138	300					
国・県									
利用者負担金									
その他									
一般財源	153	144	138	300					
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工		人工	
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2			
嘱託	0		0		0				
合計コスト①+②	1,691	1,662	1,648	300					
前年度比	—	98.3%	99.2%	—					

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	都市計画基礎調査
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	
主な取組み		
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

都市計画法に基づき、概ね5年度ごとに人口、土地利用などの現況及び将来の見直しについて調査する。その結果については利用可能な情報化を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

土地利用、建物利用の現況等を把握し、土地利用計画や用途地域の見直し等の都市計画の基礎的データを整備するもの

平成30年度の取組み  
全庁型GISへのデータのセットアップ

<現状に対する認識>

第7回定期線引き見直しに向け調査結果を基に関係機関との協議を進める。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	周辺の自然や農地とのバランスがとれた開発が行われていると思う市民の割合				
指標の設定理由	松本の目指すまちの姿の実現を促すため				
目標値	50.2	52.7	55.1	57.6	60
実績値	50.2	—	46.7		
達成度	100.0%		84.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		6,901		810					
国・県			3,781							
利用者負担金										
その他										
一般財源			3,120		810					
② 人件費(千円)	154	人工	1,139	人工	1,133	人工		人工		人工
正規	154	0.02	1,139	0.15	1,133	0.15				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	154		8,040		1,943		0			
前年度比	—		5227.2%		24.2%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	立地適正化計画策定
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	
主な取組み		
5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

集約型都市構造を構築するため、H26年度に制度化された立地適正化計画や都市再生整備計画を策定し、土地利用誘導を図り持続可能なまちづくりを進める。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

都市全体の観点から、居住や福祉・医療・商業等の都市機能を誘導するため、区域や施設、誘導施策をまとめ、コンパクトシティ・プラス・ネットワークによる集約型都市構造の実現を図る。(都市計画マスタープランの具現化)

○計画内容

・平成28年度に都市機能誘導区域を設定し平成29～30年度は居住誘導区域設定のために市民会議、地元説明会の開催し、平成30年度末に居住誘導区域を設定

<現状に対する認識>

市民会議の開催や市民への説明会を通して、平成30年度末までに居住誘導区域を設定する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	中心5地区人口(人口減少率の低減)				
指標の設定理由	都市機能を維持誘導するために人口密度の確保が必要				
目標値	14,760	14,662	14,564	14,466	14,368
実績値	14,134	13,999	13,892		
達成度	95.8%	95.5%	95.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,724		6,868		4,787					
国・県	2,862		2,300		1,890					
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,862		4,568		2,897					
② 人件費(千円)	13,381	人工	16,319	人工	16,233	人工		人工		人工
正規	13,381	1.74	16,319	2.15	16,233	2.15				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	19,105		23,187		21,020		0			
前年度比	—		121.4%		90.7%		—			



事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	駐車場配置適正化計画
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H23~

歩いて暮らせる魅力的なまちづくり、中心市街地を活性化するために駐車場に係る施策を検討・策定する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 中心市街地への自動車流入量を減らすために、パークアンドライド駐車場やプリンジ駐車場などの駐車場配置の考え方を示す。

2 歩行者と自動車の錯綜を減らし、無秩序な時間貸し駐車場の増加を抑制するため、駐車場配置適正化区域の設定と路外駐車場配置等基準の制度化を検討する。

H30年度の取組み

立地適正化計画において、駐車場配置適正化区域を定め、届出義務や配置基準等の考え方を位置付ける。

<現状に対する認識>

駐車場と公共交通やレンタサイクル、シャトルバスなど、利便性向上のための連携した対応が課題。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	まちなか歩行者数(次世代交通政策指標)				
指標の設定理由	歩いて暮らせるまちづくりとして、まちなかの回遊性向上を図るため				
目標値	38,600	39,300	42,000	42,000	42,000人/9h
実績値	42,000	15,100	40,900		
達成度	108.8%	38.4%	97.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,792		4,104		0					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,792		4,104							
② 人件費(千円)	2,615	人工	2,581	人工	2,567	人工		人工		人工
正規	2,615	0.34	2,581	0.34	2,567	0.34				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	4,407		6,685		2,567		0			
前年度比	—		151.7%		38.4%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	地区計画
-------	------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	
主な取組み		
5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	

<事業の狙い>

事業計画年度

地域の特性を活かした魅力あるまちづくりのため、地区計画を策定し建築行為等の誘導・規制を行い、住環境を保護する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

平成30年度 惣社地区において地区計画を策定

<現状に対する認識>

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地区計画の策定箇所面積(ha)				
指標の設定理由	中小土地区画整理事業整備計画				
目標値	286	290.9	293.8	293.8	294.9
実績値	286	290.9	293.8		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		0		0		0		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源										
② 人件費(千円)	6,075	人工	6,148	人工	6,116	人工		人工		人工
正規	6,075	0.79	6,148	0.81	6,116	0.81				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	6,075		6,148		6,116		0			
前年度比	—		101.2%		99.5%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	防災都市づくり計画
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み		○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H30~

最新の基礎データを活用し、災害危険度判定の調査、公表を行い、さらに現在の防災都市計画(平成13年策定)の見直しを行うもの。  
調査結果を公表し、災害リスクの周知や自助・共助の取組み促進に活用する。  
また、様々な防災施策を含む防災都市づくり計画をまとめ、大規模地震に強いまちづくりを推進する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

事業内容

- 平成30年度 全市的な災害特性を整理し、災害危険度判定を実施
- 令和元年度 重点区域における詳細な危険度判定を実施
- 令和2年度 危険度判定調査結果の公表、施策の検討
- 令和2~3年度 防災都市づくり計画策定
- 令和4年度 計画公表、実施

<現状に対する認識>

東日本大震災以降、長野県北部地震や熊本地震など発生し、各地で大規模地震がいつ起きてもおかしくない中、特に地震に対する対策が求められている。  
超少子高齢型人口減少社会の進展など、耐震化の未実施が地震による被害を拡大させる可能性がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	住宅の耐震化				
指標の設定理由					
目標値	83.0%	85.0%	87.0%	89.0%	90.0%
実績値	82.2%	82.7%	83.3%		
達成度	99.0%	97.3%	95.7%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	0	0	6,123	7,010	0
国・県			2,500	2,300	
利用者負担金					
その他					
一般財源			3,623	4,710	
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工	1,661
正規	0	0	1,661	0.22	
嘱託	0	0	0		
合計コスト①+②	0	0	7,784	7,010	
前年度比	—	—	—	—	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	新市街地開発事業 (中小土地区画整理事業(補助金))
-------	-------------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	新市街地開発事業

<事業の狙い>

事業計画年度

S63~R3

土地区画整理法第3条第1項、第2項の施行者に対して、技術援助及び補助金の交付を行うことで、「健全な市街地の造成を図り、もって公共の福祉の増進に資する」ため

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

土地区画整理事業により、地区の特性を活かした住環境を整備し、健全な市街地の造成を図るため、条件を満たした区画整理組合に対して、技術援助及び補助金の交付を行う

H30年度の状況

(単位:千円)

地区名	ha	実施事業内容	事業費	市補助金
両島	3.1	調査設計に要する経費 (補助率100%)	13,219	13,219
村井町南	5.0	舗装工事に要する経費 (補助率100%)	38,318	38,318
		調査設計に要する経費 (補助率100%)	14,105	14,105
惣社	2.9	埋文調査に要する経費 (補助率60%)	27,200	2,952
		舗装工事に要する経費 (補助率100%)	19,967	19,967
		区画造成工事に要する経費 (補助率30%)	59,767	17,930
岡田東	1.0	埋文調査に要する経費 (補助率60%)	4,390	2,634
		区画造成工事に要する経費 (補助率30%)	18,000	5,400
計	12.0		194,966	114,525

<現状に対する認識>

事業計画面積のうち、中止地区を除いて約9割が完了し、技術援助及び補助金交付についても見直しを行った。  
今後は施行中地区の早期完了を目指して、技術援助を行う。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	組合施行事業整備面積(ha)				
指標の設定理由	区画整理(組合施行)実施状況に対する、達成度評価が容易である				
目標値	221.6	221.6	224.7	232.7	233.2
実績値	221.6	221.6	221.6		
達成度	100.0%	100.0%	98.6%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	136,810		126,101		114,525		49,440			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	136,810		126,101		114,525		49,440			
② 人件費(千円)	25,920	人工	25,660	人工	25,600	人工		人工		人工
正規	23,070	3	22,770	3	22,650	3				
嘱託	2,850	1	2,890	1	2,950	1				
合計コスト①+②	162,730		151,761		140,125		49,440			
前年度比	—		93.3%		92.3%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	景観形成事業(景観計画の推進)
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本の良好な景観の保全や誘導を行うため、景観計画に基づき事業を推進するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

良好な景観形成を図るため、景観計画で定めた行為の制限事項について、必要な届け出の審査に係る事務・指導・助言を行い、景観計画の周知や内容の検討・研究を行っている。  
行政が景観に関し必要な助言を得るため、景観審議会を組織している。  
また、平成30年1月から、中心市街地において景観への影響が大きい行為について、景観事前協議制度を開始した。

(景観審議会・評価会・調整)  
・景観計画に基づく届出  
(H28実績 207件)  
(H29実績 186件)  
(H30実績 193件)

<現状に対する認識>

景観計画策定後10年が経過しようとしているが、計画に計画期間が明記されていないため、適切な評価と見直し時期の設定が必要  
平成31年度から、特に現状と乖離のある地区について部分的に見直しを先行する。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	80.8%(3.15)	調査なし	79.2%(3.13)		
達成度	115.4%		113.1%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	289		435		272		500			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	289		435		272		500			
② 人件費(千円)	6,460	人工	8,653	人工	8,607	人工		人工		人工
正規	6,460	0.84	8,653	1.14	8,607	1.14				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	6,749		9,088		8,879		500			
前年度比	—		134.7%		97.7%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	景観形成事業費(松本市景観賞実施事業)
-------	---------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H元 ~

景観形成に資する建築物やまちなみ、活動などを表彰することで、松本の良好な景観の保全や誘導を行う。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松本市景観賞実施事業  
松本らしい優れた景観に寄与する建造物や活動を表彰し、シンポジウムなどで紹介することで良好な景観形成に対する市民意識の高揚を図る。  
市ホームページやSNSで発信するほか、松本駅自由通路での展示を実施した。  
平成30年度は個々の見つけた景観を写真と短文で紹介する「フォトエッセイ」を実施し、応募に向けた講座も開催した。  
・景観賞応募件数  
(H28実績 20件)  
(H29実績 23件)  
(H30実績 22件)

<現状に対する認識>

事業開始後30年が経過し、マンネリ化を避けるため常に新たな手法を試行している。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	80.8%(3.15)	-	79.2%(3.13)		
達成度	115.4%		113.1%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	820		675		704		770			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	820		675		704		770			
② 人件費(千円)	3,614	人工	3,719	人工	3,700	人工		人工		人工
正規	3,614	0.47	3,719	0.49	3,700	0.49				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	4,434		4,394		4,404		770			
前年度比	-		99.1%		100.2%		-			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	景観形成事業(屋外広告物条例の推進)
-------	--------------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本の良好な景観を保全、形成し、公衆に対する屋外広告物の危険を防止するため

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

景観の重要な構成要素である屋外広告物の適正表示と良好な景観形成への誘導を図るため、許可物件の許可事務及び違反対応を行うもの。

・許可申請数

(H28許可実績 262件)

(H29許可実績 436件)

(H30許可実績 417件)

※申請数のため、目標設定は不適切

<現状に対する認識>

事務量が増大しており、これ以上の対応は難しい。特に違反対応については多くの人手と時間、経費が必要であり、対応人員を増加するか、事務の抜本的な見直しが必要。中核市移行に向けて、条例の全面改正準備を進めている。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	80.8%(3.15)	調査なし	79.2%(3.13)		
達成度	115.4%		113.1%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		642		567					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源			642		567					
② 人件費(千円)	3,789	人工	11,236	人工	11,215	人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	9,791	1.29	9,740	1.29				
嘱託	713	0.25	1,445	0.5	1,475	0.5				
合計コスト①+②	3,789		11,878		11,782		0			
前年度比	—		313.5%		99.2%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	景観形成事業費(歴史まちづくり事業)
-------	--------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本城を中心とした城下町松本を維持向上し、良好な景観の保全や誘導を行う。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

・歴史まちづくり事業  
松本市歴史的風致維持向上計画に基づき、近代遺産の大切さを景観的視点から再確認し、将来に向けて保存活用することで、歴史的風致の維持向上を図り、城下町松本の再生を目指す。

・計画進捗管理  
歴史的風致維持向上計画における庁内各部所管事業を進捗管理により把握

・独自事業  
松本市近代遺産：重点区域内において、50年を経過した建築物等で歴史的価値があり、指定文化財以外のものを指す。平成28年に70件、平成29年度に51件を登録した。

<現状に対する認識>

計画進捗管理にあたって、庁内横断的なプロジェクト進行を促す必要がある。令和2年度に計画期間が満了するため、令和元年度に二期計画について国及び庁内の調整を図るとともに、一期計画の総括評価を行う必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	80.8%(3.15)	-	79.2%(3.13)		
達成度	115.4%		113.1%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,778		185		591		220			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,778		185		591		220			
② 人件費(千円)	5,620	人工	5,432	人工	5,488	人工		人工		人工
正規	5,306	0.69	5,085	0.67	5,134	0.68				
嘱託	314	0.11	347	0.12	354	0.12				
合計コスト①+②	8,398		5,617		6,079		220			
前年度比	-		66.9%		108.2%		-			



事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	景観形成事業費(公共案内サイン整備事業)
-------	----------------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

公共により市街地に案内サインを設置することで、観光客を含む来街者すべてにおもてなしの心を伝えるとともに、松本の良好な景観の保全や誘導を行う。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

・公共案内サイン整備事業  
平成15年に「松本市公共案内サイン基本計画」を策定しています。これに基づき、多様な市民や来訪者が安心して目的地を目指せるよう、ユニバーサルデザインに沿った案内サインへと改良し、回遊性を高め中心市街地の活性化を図るもの。  
・平成28年度は庁内調整の上、施設の外国語表記について検討を行った。  
・平成29年度は市内に設置したサインの更新を行い、表示面の刷新、設置ヶ所の修正等をおこなった。今後は5年に一度定期的に整備を行う。

<現状に対する認識>

海外からの観光客のみならず、住民を含んだ来街者全体に必要な情報を提供する位置づけを強化する必要がある。  
独自サインや名称の多言語化等共有すべき情報が多く、周知が必要。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	80.8%(3.15)	-	79.2%(3.13)		
達成度	115.4%		113.1%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)			4,028		364		500			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源			4,028		364		500			
② 人件費(千円)	912	人工	828	人工	529	人工		人工		人工
正規	769	0.1	683	0.09	529	0.07				
嘱託	143	0.05	145	0.05	0	0				
合計コスト①+②	912		4,856		893		500			
前年度比	-		532.7%		18.4%		-			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	街なみ修景事業
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	街なみ修景事業

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

<事業の狙い>

事業計画年度

H元～

修景補助により良好な街なみ形成を促すもの。特に松本城三の丸地区では、博物館の移転、南西外堀復元など、大型公共事業が予定されているため、まちづくり協定を活用した民間活力導入など、松本城三の丸地区整備基本方針に基づいた一体的な整備を促進するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

まちづくり協定に基づき建物のファサード(道路に面する正面の部分)修景を行う場合に整備費用に対して一部補助を行うもの。(補助額 整備費2/3 上限300万円)  
 今回はお城周辺地区まちづくり推進協議会第2ブロックを対象に、まちづくり協定に基づき修景補助を行う。  
 ※活動指標は、補助件数をもって行うが、補助の有無にかかわらず、街なみ修景基準を普及し、良好な景観形成を目指す。  
 H29は建築士会に委託し、修景基準案をまちづくり推進協議会へ提示した。  
 ・H30はお城周辺地区第2ブロックの修景補助、助成事業を開始した。  
 実施件数 2件

<現状に対する認識>

すでに、整備事業に基づく移転補償が始まっているため、速やかに事業を開始する。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	景観に配慮した三の丸協定区域内のファサードの増加数				
指標の設定理由	ファサードの修景により良好な街なみの形成が図られるため				
目標値	0.0	0.0	3.0	8.0	13.0
実績値	0	0	2		
達成度			66.7%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		1,792		3,071		9,040			
国・県					1,523		4,500			
利用者負担金										
その他										
一般財源			1,792		1,548		4,540			
② 人件費(千円)	0	人工	1,594	人工	1,586	人工		人工		人工
正規	0	0	1,594	0.21	1,586	0.21				
嘱託	0	0	0	0	0	0				
合計コスト①+②	0		3,386		4,657		9,040			
前年度比	—		—		137.5%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	市街地開発事業費(施設管理事業 (水めぐりの井戸管理事業))
-------	-----------------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	
主な取組み		
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	市街地開発事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

まつもとのまちを形成する核であり、市民共有の宝である松本城を保存し、城下町に暮らす市民の誇りを守り育て、「松本城を中心としたまちづくり」を通じた、品格のある街をめざします。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 施設管理事業((仮称)大手門枳形広場)  
松本城の大手門位置に遺構が出土し、埋め戻し保護されている。調査が実施されたのが遺構の一部であるため、調査終了までの間、中心市街地の広場として管理を行っている。
- 施設管理事業(中町蔵の会館、下町会館)  
中心市街地のまちづくりのために整備した中町蔵の会館、下町会館はともに地元で指定管理をおこなっており、適切な施設管理を支援する。
- 施設管理事業(水めぐりの井戸整備事業)  
市が整備した井戸を良好な状態に保つため維持簡易を実施する。
- 井戸維持管理箇所数  
(H29実績 14件)
- 緑化空間維持修繕  
H30 26か所施工

<現状に対する認識>

(仮称)大手門枳形跡広場は暫定的な取扱いであり、条件が許せば早期の条例設置の必要がある。  
中町蔵の会館、下町会館は利用料金による指定管理であり、市の財政負担は無い。今後も地元の積極的な運営を支援する。  
井戸に関しては、今後も計画的な維持更新に努める。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている(市民満足度)				
指標の設定理由	施設管理の実態が市民に浸透しているか定量的に評価するため				
目標値	76%	76%	76%	76%	76%
実績値	61.5%(2.94)	-	60.2%(2.89)		
達成度	80.9%		79.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,920		4,426		17,857		6,290			
国・県					1,760					
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,920		4,426		16,097		6,290			
② 人件費(千円)	5,529	人工	5,526	人工	5535.5	人工		人工		人工
正規	4,076	0.53	4,023	0.53	4001.5	0.53				
嘱託	1,454	0.51	1,503	0.52	1534	0.52				
合計コスト①+②	11,449		9,952		23,393		6,290			
前年度比	-		86.9%		235.1%		-			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	歩いてみたい城下町整備事業
-------	---------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	市街地開発事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

<事業の狙い>

事業計画年度

22 ~ 32

まつもとのまちを形成する核であり、市民共有の宝である松本城を保存し、城下町に暮らす市民の誇りを守り育て、「松本城を中心としたまちづくり」を通じた、品格ある街をめざします。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

・歩いてみたい城下町整備事業  
 良好なまちなみ景観を創出するため、ワークショップ等を実施し、利用者等の意見を反映しながら道路の美装化、高質化を行う。  
 ・整備路線(H30実績 2路線 L=319m)

<現状に対する認識>

・計画期間の満了が近づいているが、実施が間に合わないと思われるため、計画期間延長又は2期計画の策定が必要

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている(市民満足度)				
指標の設定理由	施設整備の実態が市民に浸透しているか定量的に評価するため				
目標値	76.0	76.0	76.0	76.0	76.0
実績値	61.5	-	60.2		
達成度	80.9%		79.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	25,303		100,920		103,594		126,450			
国・県	12,385		41,470		51,492		62,975			
利用者負担金										
その他										
一般財源	12,918		59,450		52,102		63,475			
② 人件費(千円)	7,756	人工	7,659	人工	7,622	人工		人工		人工
正規	7,613	0.99	7,514	0.99	7,475	0.99				
嘱託	143	0.05	145	0.05	148	0.05				
合計コスト①+②	33,059		108,579		111,216		126,450			
前年度比	-		328.4%		102.4%		-			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	単独 歩いてみたい城下町整備事業
-------	---------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	市街地開発事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

<事業の狙い>

事業計画年度

～

まつもとのまちを形成する核であり、市民共有の宝である松本城を保存し、城下町に暮らす市民の誇りを守り育て、「松本城を中心としたまちづくり」を通じた、品格ある街をめざします。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

・歩いてみたい城下町整備事業  
社会資本総合整備交付金事業実施エリアに接する歩行者の往来が多く安全の確保と賑わいの創出を図るべき箇所をワークショップ等を実施し、利用者等の意見を反映しながら単独事業により道路の美装化、高質化を行う。  
・整備路線(市道2542号線(日の出町通り)道路整備工事 L=123m)

<現状に対する認識>

拡幅を伴わない現況車道の幅員構成変更によって歩行空間を構築するが、現況幅員が狭い箇所は安全な歩行空間の幅員確保が出来ない場所がある。  
幅員が狭い上、車道路肩に街灯、電柱等が設置されている箇所が点在し、安全確保が出来ない場所があるため、管理者と協議を実施し移設等の検討が必要。

<指標の達成状況>

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりがおこなわれている。(市民満足度)				
指標の設定理由	施設整備の実態が市民に浸透しているか定量的に評価するため				
目標値	76.0	76.0	76.0	76.0	76.0
実績値	61.5	-	60.2		
達成度	80.9%		79.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	0	9,665	1,569	500	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源		9,665	1,569	500	
② 人件費(千円)	0	人工 7,659	人工 7,622	人工	人工
正規	0	0 7,514	0.99 7,475	0.99	
嘱託	0	0 145	0.05 148	0.05	
合計コスト①+②	0	17,324	9,191	500	
前年度比	-	-	53.1%	-	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	まち歩き推進事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	まち歩き推進事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

30 ~

市民や来街者がまちを知り楽しむ機会を創出し、まちづくりへの関心を引き付けるとともに、多様な分野の専門家等へ講師等として関わってもらうことで、専門的な知識を得て、まちづくりに協力的な人材を増やす。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

中心市街地のまちづくりを担う、あるいは関わる人材を増やすことを目的とし、まち歩きやワークショップ、講座等を企画運営することで、市民や来訪者が楽しみながら学習する機会を創出する。

松本のまちを深く知り楽しむことで、主体的に関わりたいと思う気持ちやシビックプライドを醸成し、次世代のまちづくりに繋げるもの。

活動指標

実施回数:H30年度3回

内容:

1回目 景観まちあるき講座

2回目 枳形広場情報共有座談会

3回目 都市デザインツアー 川と街路樹編

参加者:1回目 11名、2回目 20名、3回目 14名

<現状に対する認識>

開始間もない事業につき、運用方法等職員の技能向上を図る必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている(市民満足度)				
指標の設定理由	まちづくりへの理解者をを定量的に評価することが困難なため				
目標値	76.0	76.0	76.0	76.0	76.0
実績値	61.5	-	60.2		
達成度	80.9%		79.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	0	0	175	250	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源			175	250	
② 人件費(千円)	0	人工 0	人工 923	人工	人工
正規	0	0	923	0.12	
嘱託	0	0	0		
合計コスト①+②	0	0	1,098	250	
前年度比	-	-	-	-	

# 交通安全・都市交通課

課長 近藤 潔

事務事業評価票

事務事業名	鉄道対策事業
-------	--------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	鉄道対策事業費

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○次世代交通政策の可視化・具現化
5つの重点目標	4	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑥		コンパクトな都市と賑わいの創出

＜事業の狙い＞	事業計画年度	23 ～
上高地線整備費を補助することにより、地域、観光の足として欠かせない上高地線の存続に向けた整備を促進し、輸送力強化及び安全性を確保するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 概要	アルピコ交通上高地線の老朽化した鉄道施設の大規模改修工事を実施するにあたり、国及び県と協調して補助事業者アルピコ交通株式会社へ整備費を補助するもの
2 事業の詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 線路設備、踏切保安設備、電車線及び通信線の改修</li> <li>(2) 電柱のコンクリート化</li> <li>(3) 駅構内通路警報器更新</li> <li>(4) レール及びマクラギの交換</li> </ul>

＜現状に対する認識＞

協調補助事業であるが、国・県の予算確保が厳しくなっている。上高地線大規模改修事業計画に基づき補助をしているが、計画期間が平成31年度までとなっており、平成32年度以降の補助のあり方を検討する必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	上高地線年間利用者数				
指標の設定理由	利用者を増やすことで、上高地線を存続させるため				
目標値	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000
実績値	1,680,000	1,680,000	1,715,000		
達成度	105.0%	105.0%	107.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	39,585	42,229	37,635	52,650	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	39,585	42,229	37,635		
② 人件費(千円)	1,538	1,518	1,510		
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510
嘱託	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	41,123	43,747	39,145	52,650	
前年度比	—	106.4%	89.5%	—	



事務事業評価票

事務事業名	交通対策事業
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	交通対策事業費

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			〇次世代交通政策の可視化・具現化
5つの重点目標	4	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑥		コンパクトな都市と賑わいの創出

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

交通空白地域を解消し、効率的な交通手段を確保する。  
公共交通利用者の拡大とノーマイカー運動を推進する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 評価検証  
松本市地域公共交通網形成計画に位置付けられた路線の評価・検証を行う。
- 地域主導型公共交通事業  
地域住民組織が主体となって運行する公共交通に対し、運行経費を助成する。
- ノーマイカー推進市民会議  
持続可能な人と環境に優しいまちづくりのため、ノーマイカーデー運動を推進する。  
毎年秋に行う松本ノーマイカーデーにおいて、トランジットモールを実施する。  
通勤客を対象に、平日ノーマイカーデーを実施する。

<現状に対する認識>

西部地域コミュニティバスの利用者数は増加傾向から減少傾向に転じた。  
四賀・奈川地区の公共交通の利用者は減少傾向にある。  
地域主導型公共交通事業を導入する地区が増加し、5路線が運行している。

<指標の達成状況>

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	代表交通手段の自動車分担率				
指標の設定理由	自動車の利用を減らし、徒歩・自転車・公共交通での移動を促進させるため				
目標値					63.80%
実績値	68.50%				
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	16,299		33,381		41,200		46,830			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	16,299		33,381		41,200					
② 人件費(千円)	1,923	人工	1,898	人工	1,888	人工		人工		人工
正規	1,923	0.25	1,898	0.25	1,888	0.25				
嘱託	0	0	0		0					
合計コスト①+②	18,222		35,279		43,088		46,830			
前年度比	—		193.6%		122.1%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	交通安全対策
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○地域公共交通の維持と利用促進
5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり	
松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	交通安全対策費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

交通安全運動を市民活動として展開するために、関係団体に補助等を行い、団体の運営を助け、市民への啓発活動を充実する。  
また、幼稚園、保育所から高校に至るまでの幼児・児童・生徒に対し、適時、適切な安全教室等を関係機関と連携しながら実施し、日常の交通安全を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 交通安全教室
  - 幼稚園・保育園児・保護者等に対する交通安全教室の実施
  - 小学4年生への、自転車運転免許証の交付
  - 高校へ進学する中学3年生を対象に、自転車運転者向けのリーフレットを配付
  - 高校生には、スクエアドストレイト(自転車交通安全教室)を拡大実施
  - 福祉ひろば、公民館、高齢者クラブ等に対しても、要望により随時教室実施
- 啓発活動
  - 園児用交通安全ワッペン配付
  - 新小学1年生対象にランドセルカバー配付
  - 70歳到達者 夜光反射材物品配付
  - 市民頒布用啓発物品購入
  - 市職員、警察、県地域振興局、市民団体協働の街頭啓発活動
- 市民団体に対する活動支援
  - 負担金、補助金を通じた支援、事務支援を通じた支援
  - (1) 松本市交通安全市民運動推進会議
  - (2) 松本市交通安全協会
  - (3) 松本市交通安全母の会

<現状に対する認識>

変化する交通情勢を把握し、世代に合わせた交通安全指導・教育は必須であり、地道に続けていくことで、交通ルール・マナー向上へつなげていく。

<指標の達成状況>

総合評価	A
------	---

区分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
① 成果指標(指標名)	交通事故死傷者数(松本市)				
指標の設定理由	第10次交通安全計画に掲げる目標				
目標値	1,608	1,544	1,479	1,415	1,350
実績値	1,701	1,557	1,337		
達成度	105.8%	100.8%	90.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	9,318		9,164		8,828					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	9,318		9,164		8,828					
② 人件費(千円)	21,080	人工	20,960	人工	21,000	人工		人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2				
嘱託	5,700	2	5,780	2	5,900	2				
合計コスト①+②	30,398		30,124		29,828		0			
前年度比	—		99.1%		99.0%		—			

事務事業評価票

事務事業名	自転車安全利用対策
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	自転車安全利用対策費

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			〇次世代交通政策の可視化・具現化
5つの重点目標	4	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略			⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

自転車の有効活用により、市街地に流入する自動車の絶対数を抑制し、交通渋滞の解消、市街地の賑わいを促す。  
 自転車をより効率的に活用するため、秩序ある適正な自転車駐車を整備する。また放置自転車等の指導・警告・撤去により、安全で快適なまちづくりを目指す。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 自転車駐車場管理(有料)
(1) 松本駅北自転車駐車場
(2) お城口広場自転車駐車場
(3) アルプス口自転車駐車場
(4) 村井駅自転車駐車場
2 自転車駐車場管理(無料)
(1) 中条自転車駐車場 (工事のため休止中)
(2) 南松本駅自転車駐車場
(3) 島内駅自転車駐車場
(4) 島高松駅自転車駐車場
(5) 平田駅前広場自転車駐車場
(6) 北松本駅自転車駐車場
3 放置自転車対策
放置整理区域内において、指導・警告を行い、撤去する。

<現状に対する認識>

・自転車駐車場は、設備機器の老朽化、システム定期券の製造終了のため、駐輪システム等の更新
・村井駅周辺整備により、現行の利用はH32年3月までとする。4月以降は仮設置
・駅北自転車駐車場の自転車ラックについて経年劣化による更新
・お城口広場(有料)、中条自転車駐車場(無料)の整備

<指標の達成状況>

	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	放置自転車等撤去台数				
指標の設定理由	放置自転車対策として、計画的に自転車駐車を整備し、安全で快適なまちづくりを目指す				
目標値	609	589	569	549	529
実績値	662	589	569		
達成度	92.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
① 事業費(千円)	7,874	20,682	16,652	6,110				
国・県								
利用者負担金	-35,883	-38,222	-23,490	-38,290				
その他								
一般財源	43,757	58,904	40,142	44,400				
② 人件費(千円)	19,225	人工	18,975	人工	18,875	人工	人工	人工
正規	19,225	2.5	18,975	2.5	18,875	2.5		
嘱託	0		0		0			
合計コスト①+②	27,099		39,657		35,527		6,110	
前年度比	—		146.3%		89.6%		—	

事務事業評価票

事務事業名	歩行空間あんしん事業
-------	------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	歩行空間あんしん事業

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み		○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実		5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H19～H33
波打ち歩道の改修を中心に、市民生活に直結した道路環境の整備を図り、快適で歩きやすい歩行空間を確保する		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
波打ち歩道の改修を中心に、側溝蓋掛け、カラー舗装、点字ブロック設置等を実施し、市民生活に直結した道路環境の整備を図る。

＜現状に対する認識＞
当初計画では、概ね15年間で事業を完了する予定だったが、現状の事業費では計画期間内に改修することができない。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	波打ち歩道の改修率				
指標の設定理由	計画改修延長に対する進捗状況を数値化				
目標値	49.0%	54.3%	59.6%	65.0%	71.0%
実績値	48.5%	52.9%	57.7%		
達成度	99.0%	97.4%	96.8%		
② 成果指標(指標名)	交通事故死傷者数				
指標の設定理由	松本市交通安全計画で目標としている数値と現状との比較				
目標値	1,608	1,544	1,479	1,415	1,350
実績値	1,701	1,557	1,337		
達成度	105.8%	100.8%	90.4%		

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)		79,045	64,433	44,166			
	国・県						
	利用者負担金						
	その他						
	一般財源	79,045	64,433	44,166			
② 人件費(千円)	15,380	人工	15,180	人工	15,100	人工	
	正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2
	嘱託	0	0	0			
合計コスト①+②		94,425	79,613	59,266	0		
前年度比		—	84.3%	74.4%	—		

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	単独交通安全施設等整備事業
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独交通安全施設等整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

事故防止及び通行空間の確保を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

交通安全施設(区画線、路面標示、防護柵、道路反射鏡、道路標識)の整備及び側溝への蓋掛け等を行い、交通の安全を図る。

<現状に対する認識>

各地区からの要望は、多種多様であり件数も多いため、すべての要望には対応できていない。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	交通事故死傷者数(人)				
指標の設定理由	計画整備延長に対する進捗状況を数値化				
目標値	1,608	1,544	1,479	1,415	1,350
実績値	1,701	1,557	1,337		
達成度	105.8%	100.8%	90.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	58,653		57,346		41,722					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	58,653		57,346		41,722					
② 人件費(千円)	11,535	人工	11,385	人工	11,325	人工		人工		人工
正規	11,535	1.5	11,385	1.5	11,325	1.5				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	70,188		68,731		53,047		0			
前年度比	—		97.9%		77.2%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	単独交通安全施設等整備事業 (自転車レーン整備事業)
-------	-------------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略			⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独交通安全施設等整備事業

<事業の狙い>

事業計画年度

H18~H33

自転車関連の事故防止を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

自転車レーン等の自転車通行空間ネットワークの整備を行うことにより、自転車関連事故の防止を図るとともに、自転車通行環境の向上を図る。

<現状に対する認識>

自転車利用環境の総合的な計画に基づき、計画的に整備する必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価	B
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	整備率				
指標の設定理由	計画整備延長に対する進捗状況を数値化				
目標値	56.6%	56.6%	63.6%	73.0%	87.6%
実績値	61.7%	61.7%			
達成度	109.0%	109.0%	0.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	3,150		0		19,040		17,840			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,150		0		19,040		17,840			
② 人件費(千円)	769	人工	0	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	0	0	755	0.1				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	3,919		0		19,795		17,840			
前年度比	—		0.0%		#DIV/0!		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	単独交通安全施設等整備事業 (生活ゾーン交通安全対策事業)
-------	----------------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略			⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独交通安全施設等整備事業

<事業の狙い>

事業計画年度

H24～

事故防止と静かな生活環境を確保する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

生活道路及びゾーン30やスクールゾーン区域内を通過する車両の交通量とスピードを抑制する対策を実施する。

<現状に対する認識>

面的に速度規制を行うゾーン30の関心が高まってきているため、設定地区の増加の可能性がある。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地区の状況により実施するものであるため、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	10,000		10,000		10,000					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	10,000		10,000		10,000					
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	12,307		12,277		12,265		0			
前年度比	—		99.8%		99.9%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	交通安全対策事業 (交差点改良事業)
-------	-----------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略			⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	交通安全対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H26～H31

事故の防止と交通の円滑化を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

道路形状等により、危険性の高い交差点を改良する。

<現状に対する認識>

県事業関連のため、県実施の主要地方道松本和田線改良工事に合わせての実施となる。(県道側の用地交渉が遅れている)  
また、交付金による事業であるが、近年、国からの交付金配分が少なく厳しい状況となっている。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	進捗率				
指標の設定理由	全体の目標数値に対しての進捗を数値化				
目標値	20.6%	20.6%	91.6%	100.0%	
実績値	4.4%	35.1%			
達成度	21.4%	170.4%	0.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	843		80,110		31,044					
国・県			43,040		17,074					
利用者負担金										
その他										
一般財源	843		37,070		13,970					
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	1,612		80,869		31,799		0			
前年度比	—		5016.7%		39.3%		—			



# 建設課

課長 中島 英文

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	道路改良事業(社会資本)
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	4	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	道路改良事業費(社会資本)

<事業の狙い>

事業計画年度 H21～R3

市道7003号線を改良することにより、中環状線の2車線化を推進し、市街地と郊外との連絡性の向上を図るとともに、利用する市民の利便性と安全・安心を確保する。  
また、中環状線と接続する南北幹線である市道5005号線を整備する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

国の交付金を活用した幹線道路整備事業として、中環状線である市道7003号線を整備、及び、それに関連する南北幹線、市道5005号線の整備

- 市道7003号線(島立)
  - 事業年度 H21～R3
  - 事業量
    - ア 総延長 L=1,040m W=15.0m
    - イ H29までの施工延長 L= 250m
    - ウ H30事業内容 工事 L= 164m、用地補償、補償算定
- 市道5005号線(笹部4丁目)
  - 事業年度 H26～R3
  - 事業量
    - 総延長 L= 420m W=11.0m

<現状に対する認識>

近年、交付金の配分が減少し、財源確保が厳しい状況が続いており、今後の事業の遅延が懸念される。  
事業の必要性を精査し、精度を高め、事業の展開を図る。

<指標の達成状況>

総合評価	B
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	幹線道路の整備割合				
指標の設定理由	周辺道路の交通渋滞の解消及び歩行者の安全確保				
目標値	75.5	76.0	76.5	77.1	77.6
実績値	75.0	75.3	75.5		
達成度	99.3%	99.1%	98.7%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	258,916		139,237		171,946		130,000			
国・県	142,412		76,531		85,967		65,000			
利用者負担金										
その他										
一般財源	116,504		62,706		85,979		65,000			
② 人件費(千円)	5,768	人工	5,313	人工	7,112	人工		人工		人工
正規	5,768	0.75	5,313	0.7	6,998	0.91				
嘱託	0		0		114	0.04				
合計コスト①+②	264,684		144,550		179,058		130,000			
前年度比	—		54.6%		123.9%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	道路改良事業(防災安全)
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	4	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	道路改良事業費(防災安全)

<事業の狙い>

事業計画年度

H21 ~ R2

新たな歩道設置を含め道路整備を行うことで、利用する市民の利便性と安全・安心を確保する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

国の交付金を活用した主要道路の歩行者の完全性確保のため、新たな歩道設置を含め2車線の道路整備

1 市道波田98号線(波田(森口))

(1) 事業年度 H20~R1

(2) 事業量

ア 総延長 L=2,037m W=9.5m

イ H29までの施工延長 L=1,445m

ウ H30事業内容 工事 L= 195m、用地補償、補償算定

2 市道5520号線(渚2丁目)

(1) 事業年度 H24~R2

(2) 事業量

ア 総延長 L=160m W=9.5m

3 市道2181号線(浅間温泉2丁目)

(1) 事業年度 H28~R2

(2) 事業量

ア 総延長 L=320m W=9.5m

イ H30事業内容 用地補償、補償算定

<現状に対する認識>

近年、交付金の配分が減少し、財源確保が厳しい状況が続いており、今後の事業遅延が懸念させる。

事業の必要性を精査し、精度を高め、事業の展開を図る。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	幹線道路の整備割合				
指標の設定理由	周辺道路の交通渋滞の解消及び歩行者の安全確保				
目標値	75.5	76.0	76.5	77.1	77.6
実績値	75.0	75.3	75.5		
達成度	99.3%	99.1%	98.7%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	68,378		61,018		86,777		251,460		0	
国・県	37,600		33,544		47,697		138,290			
利用者負担金										
その他	30,700		18,600		31,300		47,200			
一般財源	78		8,874		7,780		65,970			
② 人件費(千円)	13,073	人工	7,590	人工	8,804	人工		人工		人工
正規	13,073	1.7	7,590	1	8,690	1.13				
嘱託	0		0		114	0.04				
合計コスト①+②	81,451		68,608		95,581		251,460			
前年度比	—		84.2%		139.3%		—			

事務事業評価票

事務事業名	過疎対策事業
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	過疎対策事業費

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備		
5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり	
松本版総合戦略			

<事業の狙い>

事業計画年度	H28～R7
--------	--------

過疎対策地域の地元町会から拡幅要望のある市道を拡幅改良することにより、緊急車両が通行可能な安全・安心な生活環境を確保する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

四賀地区(過疎対策地域)の道路整備

- 市道下原線(板場)
  - 事業年度 H28～R3
  - 事業量 L=210m W=4.0m
- 市道下小瀬農協線(赤怒田)
  - 事業年度 H30～R3
  - 事業量
    - ア 総延長 L=400m W=4.0m
    - イ H30事業内容 工事測量、土質調査
- 市道向原線(反町)
  - 事業年度 H30～R3
  - 事業量
    - ア 総延長 L=270m W=4.0m
    - イ H30事業内容 工事測量、土質調査
- 市道長越1・2号線(長越)
  - 事業年度 R2～R7
  - 事業量 L=230m W=4.0m

<現状に対する認識>

地元調整及び関係機関との協議

<指標の達成状況>

	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	緊急車両がスムーズに通行出来る様に整備(事業費ベースでの進捗率)				
指標の設定理由	早期の効果発現のため事業進捗率を目標とする。				
目標値	1.4%	8.4%	14.7%	25.7%	25.7%
実績値	1.2%	8.2%	14.5%		
達成度	85.8%	97.6%	98.6%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	3,045	17,301	15,458	27,020		
国・県						
利用者負担金						
その他	3,000	17,300	15,400	27,000		
一般財源	45	1	58	20		
② 人件費(千円)	1,538	人工 3,795	人工 1,846	人工	人工	
正規	1,538	0.2	3,795	0.5	1,846	0.24
嘱託	0	0	0			
合計コスト①+②	4,583	21,096	17,304	27,020		
前年度比	—	460.3%	82.0%			

事務事業評価票

事務事業名	単独新設改良事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独新設改良事業

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します	
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち	主な取組み	○	生活道路の改善や親子が集う公園の整備		
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略			

<事業の狙い>

事業計画年度	S62 ~ R5
--------	----------

生活道路を改良することにより、主に地元町会の利用する市民等の安全・安心な生活環境を確保する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

地元要望のある生活道路を主に、道路整備(53路線)

H30実施  
 工事、用地補償、委託等 23路線 C=237,658千円  
 整備延長 8路線 L=968m

全体計画(実施計画第49号)  
 他事業関連 6路線.....(3路線)  
 中部縦貫自動車道関連(10箇所~)  
 国道19号関連 2路線  
 空港関連 4路線  
 生活道路一般 35路線.....(15路線)  
 交付金事業単独分 7路線.....(5路線)

<現状に対する認識>

地元調整及び関係機関との協議  
 事業の必要性を精査し、精度を高め、事業の展開を図る。

<指標の達成状況>

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	整備された生活道路の割合				
指標の設定理由	市民生活に密着した生活道路の整備進捗(整備割合)を指標とする。				
目標値	37.7%	40%	48%	56%	63%
実績値	37.7%	40%	48%		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	175,252		160,346		237,658		178,880			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	175,252		160,346		237,658		178,880			
② 人件費(千円)	48,434	人工	52,713	人工	51,202	人工		人工		人工
正規	47,294	6.15	48,956	6.45	50,062	6.51				
嘱託	1,140	0.4	3,757	1.3	1,140	0.4				
合計コスト①+②	223,686		213,059		288,860		178,880			
前年度比	—		95.2%		135.6%		—			

事務事業評価票

事務事業名	単独橋りょう整備事業
-------	------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	単独橋りょう整備事業

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進		5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H20～R8
橋りょうの架け替え・補修工事を行うことにより、通行車両等の安全性を高める。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<p>老朽化した橋りょうの架け替え・補修工事及び、地元要望のある生活道路の橋梁整備</p> <p>市道7553号線 月見橋(笹部～島立)                  事業年度 H26～R7                  事業量 L=160m W=12.0m                  総事業費 C=2,143,269千円(内詳細設計分)                  H30事業 詳細設計、土質調査</p> <p>橋梁長寿命化事業                  事業年度 H20～                  事業量 480橋                  総事業費 C=2,678,420千円(内事業調整分)</p> <p>橋梁架替事業                  事業年度 R2～                  事業量 3橋                  総事業費 C=192,900千円(内予備設計分)</p> <p>市道8114号線 巾下橋 島内                  事業年度 R3～R8                  事業量 L=11m W=4.0m                  総事業費 C=135,930千円</p>

＜現状に対する認識＞
<p>地元調整及び関係機関との協議</p> <p>成果指標については、平成28年度から継続実施している、主体事業の橋りょう長寿命化事業(防災安全)と共通とする。</p>

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	長期的コストの縮減、安全・安心の確保(橋梁長寿命化修繕完了橋梁数)				
指標の設定理由	将来に向けた橋りょう整備の軸となる橋梁修繕完了橋梁数を指標とする				
目標値	14	23	35	-	-
実績値	14	21	29		
達成度	100.0%	91.3%	82.9%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	10,483	3,748	61,568	3,000						
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	10,483	3,748	61,568	3,000						
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工	6921	人工	0.9		人工	
正規	0		0		6921	0.9				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	10,483	3,748	68,489	3,000						
前年度比	-	35.8%	1827.3%	-						

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	交通安全対策事業(防災安全)
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	交通安全対策事業(防災安全)

<事業の狙い>

事業計画年度

25 ~ 29

新たな歩道設置を含め橋梁整備を行うことで、利用する市民等の安全・安心な通行を確保する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

一級河川田川の奈良井川改良事務所による河川改修計画に合わせた、関連する渚橋(市道5520号線)の整備

市道5520号線 渚橋(渚2丁目).....(県施工工事負担金 C=35,826千円)

事業年度 H25~H29  
事業量 L=49m W=10.25m  
総事業費 C=415,188千円

<現状に対する認識>

近年、国からの交付金の配分が少なく、事業費の確保が厳しい状況となっている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	長期的コストの縮減、安全・安心の確保(事業費ベースでの進捗率)				
指標の設定理由	主体事業である「渚橋(5520号線)整備」の進捗率を指標とする				
目標値	89%	100%			
実績値	89%	100%			
達成度	100.0%	100.0%			
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	100,300		35,826		0		0			
国・県	55,150		19,089							
利用者負担金										
その他										
一般財源	45,150		16,737							
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	0	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	0					
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	101,069		36,585		0		0			
前年度比	—		36.2%		0.0%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	橋りょう長寿命化事業(防災安全)
-------	------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	4	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	橋りょう長寿命化事業(防災安全)

<事業の狙い>

事業計画年度

H20～

橋りょうの長寿命化を図ることにより、将来の架替え時期を分散させ、事業費の平準化を図る。  
補修工事を行うことにより、通行車両等の安全性を高める。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

国の交付金を活用し、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化した橋りょうの計画的な長寿命化修繕を実施、及び、更新の必要な橋りょうの架替え

橋梁長寿命化事業……(補修工事8橋 補修設計7橋 C=204,347千円)  
事業年度 H20～  
事業量 480橋  
総事業費 C=2,678,420千円

橋梁架替事業  
事業年度 R2～  
事業量 3橋  
総事業費 C=192,900千円

<現状に対する認識>

近年、国からの交付金の配分が少なく、財源の確保が厳しい状況となっており、今後の事業の遅延が懸念される。

平成30年度、橋梁長寿命化修繕計画の見直しを行い、必要性や長期的なコスト、事業費の平準化などの精度を高め、より効率的な事業を実施する。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	長期的コストの縮減、安全・安心の確保(橋梁長寿命化修繕完了橋梁数)				
指標の設定理由	将来に向けた橋りょう整備の軸となる橋梁修繕完了橋梁数を指標とする				
目標値	14	23	35	37	45
実績値	14	21	29		
達成度	100.0%	91.3%	82.9%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	144,007		289,916		204,347		212,500			
国・県	79,010		159,255		111,485		116,250			
利用者負担金										
その他										
一般財源	64,997		130,661		92,862		96,250			
② 人件費(千円)	22,473	人工	22,391	人工	20,060	人工		人工		人工
正規	20,763	2.7	22,391	2.95	19,148	2.49				
嘱託	1,710	0.6	0		912	0.32				
合計コスト①+②	166,480		312,307		224,407		212,500			
前年度比	—		187.6%		71.9%		—			



事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	過疎対策事業(橋りょう整備事業)
-------	------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	4	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	過疎対策事業費(橋りょう整備事業)

<事業の狙い>

事業計画年度

28 ~ 35

過疎対策地域の地元町会から拡幅要望のある市道(橋りょう)を拡幅改良することにより、緊急車両が通行可能な安全・安心な生活環境を確保する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

四賀地区(過疎対策地域)の橋りょう整備

市道保福寺線久手地沢橋(保福寺).....(工事(L=14m)、補償 C=13,740千円)

事業年度 H29~H30  
 事業量 L=m W=4.0m  
 総事業費 C=21,220千円

<現状に対する認識>

地元調整及び関係機関との協議

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	緊急車両がスムーズに通行出来る様に整備(事業費ベースでの進捗率)				
指標の設定理由	早期の効果発現のため事業進捗率を目標とする。				
目標値		28%	58%	100%	
実績値		26%	58%		
達成度		91.7%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		5,260		13,740		13,900			
国・県										
利用者負担金										
その他			5,200		13,700		13,900			
一般財源			60		40					
② 人件費(千円)	0	人工	380	人工	1,960	人工		人工		人工
正規	0		380	0.05	1,846	0.24				
嘱託	0		0		114	0.04				
合計コスト①+②	0		5,640		15,700		13,900			
前年度比	-		#DIV/0!		278.4%		-			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	単独河川改良事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独河川改良事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H17~

市内を流れる河川の排水系列別の整備を進め、円滑な治水・排水により市民生活の安全性を確保するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

都市化による雨水流出量の増加に対する断面確保や老朽化等による二次改良が必要な河川の整備

- 三番川……………(工事 L=14.9m C=4,644千円)
- 西大門沢川……………(用地測量1式、用地・補償1式)
- 大六川……………(測量設計1式 C=1,404千円)

- 河川現況調査(河川水路台帳修正) 1式 C=2,376千円
- 仮設排水ポンプ設置 1式 C=4,150千円

<現状に対する認識>

近年の集中豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加により、溢水、浸水被害が発生している。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	河川状況及び地元要望により実施しているため、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	53,171		40,552		18,352		43,590			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	53,171		40,552		18,352		43,590			
② 人件費(千円)	6,921	人工	6,831	人工	6,040	人工		人工		人工
正規	6,921	0.9	6,831	0.9	6,040	0.8				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	60,092		47,383		24,392		43,590			
前年度比	—		78.9%		51.5%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	単独水路改修事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独水路改修事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H6~

市内を流れる水路の水系別、排水系列別の整備を進め、円滑な治水・排水により市民生活の安全性を確保するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

都市化による雨水流出量の増加に対する断面確保や老朽化等による二次改良が必要な水路の整備

- 並柳地区水路……………(工事 L=13.5m C=3,121千円)
- 横田運動公園水路……………(工事 L=137.1m C=13,845千円)
- 荒町南水路……………(工事 L=50.7m C=1,738千円)
- 四ツ谷東水路……………(工事 L=52.3m C=3,466千円)
- 三才水路……………(工事 L=18.0m C=2,775千円)
- 他……………(工事)

<現状に対する認識>

近年の集中豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加により、溢水、浸水被害が発生している。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	水路状況及び地元要望により実施しているため、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	47,325		33,900		34,995		34,580			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	47,325		33,900		34,995		34,580			
② 人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	8,305	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	8,305	1.1				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	55,015		41,490		43,300		34,580			
前年度比	—		75.4%		104.4%		—			

事務事業評価票

事務事業名	単独雨水渠新設改良事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独雨水渠新設改良事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	H14～
都市化による雨水流出量の増加に対し、放流の分散化を図り、都市浸水被害を防止するため雨水渠の整備を進めるもの	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

雨水渠及び雨水貯留施設の整備

女鳥羽川第十排水区雨水管整備・・・(兼用側溝整備負担)

田川第一雨水幹線・・・(補償 1式)

<現状に対する認識>

近年の集中豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加により、溢水、浸水被害が発生している。

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち	主な取組み		○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	雨水渠整備率(整備面積/計画面積)				
指標の設定理由	都市浸水被害を防止するための施設整備状況を表すのに適当であるため				
目標値	19.3%	19.7%	19.7%	19.7%	22.5%
実績値	19.3%	19.3%	19.3%		
達成度	100.0%	98.0%	98.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	7,089	0	11,733	23,500	
国・県				23,500	
利用者負担金					
その他					
一般財源	7,089	0	11,733		
② 人件費(千円)	769	人工 0	人工 1,510	人工	人工
正規	769	0.1	0	1,510	0.2
嘱託	0	0	0		
合計コスト①+②	7,858	0	13,243	23,500	
前年度比	—	—	—	—	

事務事業評価票

事務事業名	雨水渠改良事業
-------	---------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	雨水渠改良事業費

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取組み	○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H25～H37
都市化による雨水流出量の増加に対し、放流の分散化を図り、都市浸水被害を防止するため雨水渠の整備を進めるもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
雨水渠及び雨水貯留施設の整備
県第一雨水幹線……………(貯留施設 V=1,000m3 C=135,392千円、補償 1式) (工事 L=54.5m C=30,240千円)
並柳第一雨水幹線……………(工事 L=14.0m C=9,751千円、詳細設計 1式)
筑摩雨水幹線……………(貯留施設 V=1,500m3 C=59,850千円、補償 1式)
丸の内排水区雨水管……………(詳細設計 1式)

＜現状に対する認識＞
近年の集中豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加により、溢水、浸水被害が発生している。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	雨水渠整備率(整備面積/計画面積)				
指標の設定理由	都市浸水被害を防止するための施設整備状況を表すのに適当であるため				
目標値	19.3%	19.7%	19.7%	19.7%	22.5%
実績値	19.3%	19.3%	19.3%		
達成度	100.0%	98.0%	98.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞							
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
① 事業費(千円)	423,135	162,258	304,542	201,740			
国・県	211,549	81,106	152,248	100,700			
利用者負担金							
その他	195,100	81,100	152,100	100,700			
一般財源	16,486	52	194	340			
② 人件費(千円)	24,608	人工	24,288	人工	23,405	人工	人工
正規	24,608	3.2	24,288	3.2	23,405	3.1	
嘱託	0		0		0		
合計コスト①+②	447,743		186,546		327,947		201,740
前年度比	—		41.7%		175.8%		—

事務事業評価票

事務事業名	街路事業費(防災安全)
-------	-------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	街路事業費(防災安全)

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H22 ~ R13
交通の円滑化と通過交通の分散を図り、安全、安心な道路環境を確保するため、道路整備5箇年計画に基づき、幹線道路整備を推進する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
都市計画道路の整備
1 継続事業
(1) 小池平田線<庄内>.....(工事・用地補償等 C=117,617千円)
事業年度 H25~R01
事業量 L=253m W=18m
総事業費 773,520千円
(2) 南松本駅石芝線<西工区>... (用地補償等 C=163,787千円)
事業年度 H25~R02
事業量 L=180m W=12m
総事業費 549,000千円
2 新規事業
(1) 出川浅間線<薄川~惣社>... (測量・予備設計)
(2) 小池平田線<逢初>..... (地元調整)
(3) 宮渚新橋上金井線<城西>... (地元調整)
※ 街路事業費については、平成30年度より、街路事業(防災安全)と街路事業(都市再生)に分かれたものであり、平成29年度までのデータは、「街路事業(防災安全)」のもの。

事業化までに期間を要し、着手後も事業費の確保等早期完了が厳しい状況である。
---------------------------------------

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	幹線道路の整備割合				
指標の設定理由	幹線道路の中でも骨格となる都市計画道路の整備により、交通の円滑化と通過交通の分散を図る。				
目標値	75.5	76.0	76.5	77.1	77.6
実績値	75.0	75.3	75.5		
達成度	99.3%	99.1%	98.7%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞						
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	255,679	309,983	281,404	212,850		
国・県	140,599	170,483	154,717	117,000		
利用者負担金						
その他	93,100	123,500		86,100		
一般財源	21,980	16,000	126,687	9,750		
② 人件費(千円)	48,832	人工 25,958	人工 17,743	人工	人工	
正規	48,832	6.35	25,958	3.42	17,743	2.35
嘱託	0		0		0	
合計コスト①+②	304,511	335,941	299,147	212,850		
前年度比	—	110.3%	89.0%	—		

事務事業評価票

事務事業名	街路事業費(都市再生)
-------	-------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	街路事業費(都市再生)

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備	
5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H24 ~ R9
・交通の円滑化と通過交通の分散を図り、安全、安心な道路環境を確保するため、道路整備5箇年計画に基づき、幹線道路整備を推進する。 ・松本城を中心としたまちづくり都市再生整備計画事業(都市再構築戦略事業)まちづくりと次世代交通政策を連携し、歩いて暮らせる集約型都市構造を実現する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
都市計画道路の整備 1 継続事業 (1) 中条白板線(巾上).....(用地補償等 C= 195,218千円) 事業年度 H24~R3 事業量 L=265m W=18m 総事業費 1,387,000千円  (2) 中条白板線(白板).....(用地補償等 C= 141,637千円) 事業年度 H28~R5 事業量 L=120m W=18m 総事業費 1,336,000千円  2 新規事業 市道1223号線(城西).....(測量・予備設計)  ※ 街路事業費については、平成30年度より、街路事業(防災安全)と街路事業(都市再生)に分かれたものであり、平成29年度までのデータは、「街路事業(防災安全)」のもの。

事業化までに期間を要し、着手後も事業費の確保等早期完了が厳しい状況である。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	幹線道路の整備割合				
指標の設定理由	幹線道路の中でも骨格となる都市計画道路の整備により、交通の円滑化と通過交通の分散を図る。				
目標値	75.5	76.0	76.6	77.1	77.6
実績値	75.0	75.3	75.5		
達成度	99.3%	99.1%	98.6%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
① 事業費(千円)	255,679	309,983	336,855	437,200					
国・県	140,599	170,483	284,838	218,500					
利用者負担金									
その他	93,100	123,500		196,700					
一般財源	21,980	16,000	52,017	22,000					
② 人件費(千円)	48,832	人工	25,958	人工	16,988	人工		人工	
正規	48,832	6.35	25,958	3.42	16,988	2.25			
嘱託	0		0		0				
合計コスト①+②	304,511	335,941	353,843	437,200					
前年度比	—	110.3%	105.3%	—					

事務事業評価票

事務事業名	単独街路事業
-------	--------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	単独街路事業

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	4	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略			

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H22 ~ R13

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

都市計画道路の整備

1 継続事業

(1) 小池平田線<庄内>.....(工事費、補償料 C=7,226千円)  
 事業年度 H25~R01  
 事業量 L=253m W=18m  
 総事業費 773,520千円

(2) 中条白板線<巾上>.....(委託料、工事費等 C=5,989千円)  
 事業年度 H24~R03  
 事業量 L=265m W=18m  
 総事業費 1,387,000千円

(3) 南松本駅石芝線<西工区>..(用地購入費、委託料等 C=4,304千円)  
 事業年度 H26~R02  
 事業量 L=180m W=12m  
 総事業費 549,000千円

(4) 中条白板線<白板>.....(委託料、手数料等 C=1,697千円)  
 事業年度 H28~R05  
 事業量 L=120m W=18m  
 総事業費 1,336,000千円

2 新規事業

(1) 出川浅間線<薄川~惣社>... (地元調整、測量・予備設計)  
 (2) 市道1223号線<城西>..... (地元調整、測量・予備設計)  
 (3) 松本駅北小松線<県>..... (地元調整)

単独街路事業は、街路事業を補完する一体的なものであるため、事業の狙い、内容、成果指標等、両事業は共通である。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	幹線道路の整備割合				
指標の設定理由	幹線道路の中でも骨格となる都市計画道路の整備により、交通の円滑化と通過交通の分散を図る。				
目標値	75.5	76	76.6	77.1	77.6
実績値	74.8	75	75		
達成度	99.1%	98.7%	97.9%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	10,616	26,020	58,680	32,070	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	10,616	26,020	58,680	32,070	
② 人件費(千円)	1,154	人工 9,488	人工 7,550	人工	人工
正規	1,154	0.15 9,488	1.25 7,550	1	
嘱託	0	0	0		
合計コスト①+②	11,770	35,508	66,230	32,070	
前年度比	—	301.7%	186.5%	—	



維持課

課長 百瀬 信

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	0820000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	地籍調査事業
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地籍調査事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～ 33

道路改良等による市道敷地の地籍を明確にするもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

四賀地区地籍調査業務  
市道敷地の地籍を明確にするため、該当地の実態について、その経緯や現地の境界など総合的に調査を行う。

<現状に対する認識>

地籍調査は、国(国土庁)により推進を図ることとしているが、長野県の予算が充分確保できない状況の中、大幅な進捗は困難になっている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地籍調査済面積(km <sup>2</sup> )				
指標の設定理由	地籍の明確化により、土地トラブルの解消と災害時の復旧事業が円滑に進む				
目標値	8.47	8.67	8.80	8.83	8.85
実績値	8.47	8.66	8.79		
達成度	100.0%	99.9%	99.9%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	7,000		7,600		6,094		2,180			
国・県	4,875		4,492		4,125		750			
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,125		3,108		1,969		1,430			
② 人件費(千円)	18,384	人工	13,522	人工	13,601	人工		人工		人工
正規	15,534	2.02	7,742	1.02	7,701	1.02				
嘱託	2,850	1	5,780	2	5,900	2				
合計コスト①+②	25,384		21,122		19,695		2,180			
前年度比	—		83.2%		93.2%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	0820000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	市道管理
-------	------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	市道管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

関係法令(道路法、河川法等)に基づき、市民生活の基礎的インフラとして重要な施設の適切な管理を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 市道認定事務(H30実績36件)  
道路法及び市道認定要綱に基づき、適正な市道認定を行う
- 市道管理事務  
道路法に基づき、市道付帯設備の管理業務を行う
- 市道占用等許可業務及び料金徴収(H30許可件数3,373件 占用料105,864千円)  
道路法、河川法及び市条例に基づき、市道占用の許可を行う
- 許認可事務(道路法・河川法)  
道路法、河川法及び市条例に基づき許認可事務を行う
- 境界確認事務(H30実績783件)  
官民界との境界確認を行う
- 特殊車両通行許可協議(H30実績920件)  
法に基づき、特殊車両通行許可協議を行う
- 事故対応業務(H30賠償件数10件、自損事故対応件数240件)  
道路の構造物が原因で発生した市道上の事故への賠償及び自損事故で破損した道路施設の事故処理に対応する。
- 河川防災ステーション管理業務  
洪水時等の非常時における水防活動を円滑に行うとともに非常時における防災意識の向上及び地域活動の活性化を図る。

<現状に対する認識>

- 関係法令に基づき適正な管理を行う必要がある。
- 道路用地登記等未処理事業については、所有権者の死亡等の場合、相続処理がされていない土地の境界確認や登記が困難な状況となっている。
- 道路管理に瑕疵が生じないように市道パトロールを強化する。また、道路情報通報アプリ等による危険個所の情報収集を行い、迅速な補修対応を行う。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	道路の状況により実施する、また、申請により実施するものであり目標設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	47,679		43,086		48,187		49,480			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	47,679		43,086		48,187		49,480			
② 人件費(千円)	88,612	人工	87,845	人工	87,759	人工		人工		人工
正規	74,362	9.67	73,395	9.67	73,009	9.67				
嘱託	14,250	5	14,450	5	14,750	5				
合計コスト①+②	136,291		130,931		135,946		49,480			
前年度比	—		96.1%		103.8%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	0820000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	道路情報管理
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	道路情報管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

道路法の規定に基づき本市が管理する市道について、道路情報を効率的に管理するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松本市道路台帳補正業務  
 年度ごとに市道の 신설、改良、舗装等に伴い認定、変更、廃止された市道について道路台帳を補正して、図面、各種調書の更新を実施し、道路延長及び面積等の数値を掌握する。  
 (H30実績 市道認定36件、変更2件、廃止0件)  
 路線実延長 2,317,235m → 2,321,373m  
 道路敷面積 11,939,712㎡ → 11,971,737㎡

<現状に対する認識>

調書等は、地方交付税の算定基礎通知として用いるほか、国土交通省等への報告など各種調査利用している。また、建築確認等に伴う市民の閲覧も多く利用価値は極めて高い。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	道路の状況により実施するものであり、目標値設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	23,673		26,589		27,831		27,070			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	23,673		26,589		27,831		27,070			
② 人件費(千円)	5,383	人工	5,313	人工	5,285	人工		人工		人工
正規	5,383	0.7	5,313	0.7	5,285	0.7				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	29,056		31,902		33,116		27,070			
前年度比	—		109.8%		103.8%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	私道舗装補助金
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

生活環境の向上を図るため、地域から整備要望のある私道等について、舗装工事費に相当する金額を補助金として交付するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業内容  
利用のある私道・認定外道路等で、要綱に適合するものについて舗装工事費に相当する一定の金額を補助金として交付

2 補助対象  
(1) 幅員1.8m以上の通り抜け道路 (工事費の100分の100)  
(2) 幅員1.8m以上、かつ、延長35m以上の袋路(工事費の100分の50)  
(3) 舗装工事に伴い必要となる簡易な排水構造物の設置

3 実績  
550件 延長42,099m 事業費385,367千円

平成30年度 6件(四賀穴沢、島立堀米、神林南荒井、岡田松岡、島立荒井、島内青島)  
延長L=311m 面積A=791㎡ 事業費5,186千円

<現状に対する認識>

平成29年4月1日付で補助制度(補助対象)を一部見直し、市民サービスの向上を図った。今後は補助制度の周知及び補助金活用の推進に努める。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地権者の合意により実施するもので、目標値の設定不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,829		2,991		5,186		3,000			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,829		2,991		5,186		3,000			
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3				
嘱託	0	0	0		0					
合計コスト①+②	5,136		5,268		7,451		3,000			
前年度比	—		102.6%		141.4%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	駅前広場管理
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	駅前広場管理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	334	公共交通ネットワークの充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

駅前広場・自由通路を利用する市民及び旅客の安全かつ円滑な通行を確保したうえで、施設を効率的に運営しつつサービスの向上を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 対象施設	松本駅、北松本駅、平田駅の駅前広場及び自由通路
2 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 指定管理者制度による施設管理</li> <li>(2) 使用料金の徴収 <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前広場使用料</li> <li>・自家用車整理場使用料(松本駅お城口・アルプス口広場)</li> <li>・駅前広場タクシー駐車場使用料(松本駅お城口・アルプス口、北松本駅お城口・アルプス口)</li> </ul> </li> <li>(3) 昇降機の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・松本駅エレベーター、エスカレーター</li> <li>・北松本駅エレベーター</li> <li>・平田駅エレベーター</li> </ul> </li> </ul>

<現状に対する認識>

不特定多数の利用者があり、経年経過による施設の損傷も進んでいる中、施設の適正な使用及び利用者の安全確保に努める。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	施設の管理事業であるため、指標の設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	59,381		66,650		61,516		60,380			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	59,381		66,650		61,516		60,380			
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2				
嘱託	0	0	0		0					
合計コスト①+②	60,919		68,168		63,026		60,380			
前年度比	—		111.9%		92.5%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	0820000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	単独道路橋りょう維持補修事業
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独道路橋りょう維持補修事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

道路等を安全に維持管理するもの。また、冬期間の通行を確保するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 道路施設等管理業務  
安全な道路施設状態を確保するため道路施設を管理する
- 道路除融雪業務  
冬期間の安全な交通を確保するため、道路施設を管理する
- 老朽化や破損等の道路施設維持補修  
安全な道路施設等の状態を確保するため、道路施設等を補修する

<現状に対する認識>

市道の維持管理において、緊急対応等市民生活に直結する重要な業務。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	道路の状況により実施するため、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,048,992		955,988		834,205		724,230			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,048,992		955,988		834,205		724,230			
② 人件費(千円)	184,447	人工	182,087	人工	184,447	人工		人工		人工
正規	183,022	23.8	180,642	23.8	183,022	23.8				
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5	1,425	0.5				
合計コスト①+②	1,233,439		1,138,075		1,018,652		724,230			
前年度比	—		92.3%		89.5%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	今井道の駅維持管理業務
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	道の駅維持管理委託

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

道の駅を利用する市民及び観光客等の利便性や安全性を確保し、施設を効率的に運営しつつサービスの向上を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業概要	県が設置した今井道の駅について、県との管理協定に基づき、市が実施する部分の施設管理を行う。
2 対象施設	駐車場、歩道、公衆便所、休憩施設
3 事業内容	委託による清掃・消耗品の補充等日常的な維持管理

<現状に対する認識>

施設の損傷等もあるが、利用者への憩いのスペースを提供するため、特に安全の確保に努める。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	施設の管理事業であるため、指標の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,853		2,853		2,853		2,879			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,853		2,853		2,853		2,879			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託	0	0	0		0					
合計コスト①+②	3,622		3,612		3,608		2,879			
前年度比	—		99.7%		99.9%		—			



事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	0820000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	道路橋りょう維持補修事業費 (防災安全)
-------	-------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	道路橋りょう維持補修事業費(防災安全)

<事業の狙い>

事業計画年度	26~30
--------	-------

道路法改正による道路構造物の5年に1度の定期点検義務化に対して、点検を実施し道路構造物の健全性を把握し構造物の長寿命化を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 道路構造物定期点検  
5年に1度の定期点検の義務化により、重要道路構造物(橋長5m未満の橋梁、トンネル、大型ボックスカルバート、横断歩道橋)について点検を実施し、健全性を診断する。  
平成30年度 L2~5mの橋梁点検 62箇所(一巡目 508橋全て完了)  
平成31年度 L2~5mの橋梁点検 99箇所(二巡目)
- 舗装長寿命化事業  
経年劣化が進む道路舗装について、5年に1回の定期点検(路面性状調査)を実施して「舗装長寿命化修繕計画」を策定する。更に、土質調査及び交通量調査で舗装状態を正確に把握して修繕工事を実施することで効率的な維持管理を実施する。  
H26調査対象市道延長(幹線市道)L=335kmのうち、管理水準以下延長がL=112kmに上るため、修繕速度を4.5km/年以上とする。  
平成29年度 L=0.6km 平成30年度 L=2.7km  
平成31年度 L=3.9km予定

<現状に対する認識>

道路の老朽化による修繕費が増大する中、定期点検に基づく計画的補修で長寿命化を図る必要がある。しかし、国からの交付金が減少しており、事業費の確保が厳しい現状である。

<指標の達成状況>

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	構造物点検実施箇所数				
指標の設定理由	定期点検の義務対象施設総数(994箇所)に対する進捗率				
目標値	634	849	994	199	444
実績値	640	907	994		
達成度	100.9%	106.8%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	道路舗装修繕率(%)				
指標の設定理由	H26調査による管理水準以下総延長(L=112km)に対する進捗率				
目標値	0	4.4	8.4	11.4	16.4
実績値	0	0.5	2.9		
達成度		11.4%	34.5%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	76,010		138,439		189,530		203,500			
国・県	41,800		76,139		49,529		54,425			
利用者負担金										
その他					48,000		90,000			
一般財源	34,210		62,300		92,001		59,075			
② 人件費(千円)	10,911	人工	10,877	人工	22,250	人工		人工		人工
正規	6,921	0.9	6,831	0.9	18,120	2.4				
嘱託	3,990	1.4	4,046	1.4	4,130	1.4				
合計コスト①+②	86,921		149,316		211,780		203,500			
前年度比	—		171.8%		141.8%		—			

事務事業評価票

事務事業名	リフレッシュロード事業
-------	-------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	リフレッシュロード事業費

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	0820000
-----	-----	----	-----	-----	---------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約		
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取組み		
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標			
—	—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	28～32
流通及び生活に密着した幹線道路をより心地よく、より使いやすくするため、舗装補修だけでなく、植栽・歩道・道路付属施設などを総合的に整備する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞ やまびこ道路他5路線の整備 車道:舗装補修、側溝補修、区画線設置、交通安全施設補修 植樹帯:街路樹剪定、街路樹補植 歩道:舗装補修、縁石補修
---

＜現状に対する認識＞ 従前の道路改良においては、車優先で整備が進められたため、歩行者や自転車への配慮が欠けている道路がある。歩行者や自転車等のすべての利用者に優しい公共空間が必要である。
--

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	道路整備率(%)(年一億ベースの事業費目標に対する整備進捗率)				
指標の設定理由	(年一億ベースの事業費目標に対する整備進捗率)				
目標値	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0
実績値	20	33.7	47		
達成度	100.0%	84.3%	78.3%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	99,988	68,472	69,267	100,000		
国・県						
利用者負担金						
その他				63,000		
一般財源	99,988	68,472	69,267	37,000		
② 人件費(千円)	23,070	22,770	11,325			
正規	23,070	3	11,325	1.5		
嘱託	0	0	0			
合計コスト①+②	123,058	91,242	80,592	100,000		
前年度比	—	74.1%	88.3%	—		

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	0820000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	負担金(兼用側溝・急傾斜地)
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市道の排水を兼ねた県道の道路排水施設について県で改修事業を行うもの。また、急傾斜地崩壊危険箇所として県が整備を行うものに対し工事費の一部を負担するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 県単独兼用側溝整備事業負担金  
市道の排水を県が管理している水路に接続し処理しているため、工事費の50%及び事務費として工事費の11%を負担する。
- 2 急傾斜地崩壊対策事業負担金  
市町村の要望により県が急傾斜地崩壊指定箇所の対策工事を行っているため、事業費の5%を負担する。

<現状に対する認識>

一部の費用負担で排水処理を推進できる。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	県事業により実施するため、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,376		7,502		6,361		10,470			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,376		7,502		6,361		10,470			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	6,145		8,261		7,116		10,470			
前年度比	—		134.4%		86.1%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	0820000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	単独河川維持補修事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独河川維持補修事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

河川を維持管理するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

河川の維持及び整備  
河川の補修及び河川内の支障木等を撤去する

<現状に対する認識>

河川の維持管理において、緊急対応等、市民生活に直結する重要な業務である。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	河川の状況により実施するため、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	7,176		7,274		6,980		7,210			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,176		7,274		6,980		7,210			
② 人件費(千円)	1,054	人工	1,048	人工	1,050	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託	285	0.1	289	0.1	295	0.1				
合計コスト①+②	8,230		8,322		8,030		7,210			
前年度比	—		101.1%		96.5%		—			

# 公園緑地課

課長 三沢 眞二

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	公園維持管理事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備		
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	公園維持管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の健全な心身を育む場として公共の福祉の増進を図るとともに、災害時における避難所として防災対策の推進するため、適正な公園施設の維持管理を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 業務委託
  - 公園緑地の維持管理業務  
シルバー人材センター他業務委託 (34公園)
  - ゴミ収集・処分業務  
(157公園 125t)
  - 害虫防除駆除  
(96公園 360本処理)
  - 除草業務  
ア 草刈 (6カ所 延べ62,300㎡)  
イ 芝除草 (12カ所 102,500㎡)  
ウ 植樹帯除草 (14カ所 26,450㎡)
  - 松本市アルプスドリームコースター、軟水器、電気工作物、浄化槽、時計、消防設備等の保守点検
- 施設の点検・維持補修  
点検結果において、補修が必要となった施設の営繕及び更新

<現状に対する認識>

・公園設備の老朽化が進んでいるため、早急な対策が必要となっている。

<指標の達成状況>

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	公園遊具施設事故件数				
指標の設定理由	遊具施設の事故件数から適正な施設管理状況を把握できるため				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	6	4	4		
達成度	0.0%	0.0%	0.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	190,228		192,015		195,257		199,220			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	190,228		192,015		195,257		199,220			
② 人件費(千円)	25,667	人工	25,549	人工	25,625	人工		人工		人工
正規	17,687	2.3	17,457	2.3	17,365	2.3				
嘱託	7,980	2.8	8,092	2.8	8,260	2.8				
合計コスト①+②	215,895		217,564		220,882		199,220			
前年度比	—		100.8%		101.5%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	小鳥と小動物の森管理事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	413	環境教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり	
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	小鳥と小動物の森管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

身近な動物たちとの触れ合いを楽しみ、市民の健全な心身を育む場を提供するため、適正な施設維持管理を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 施設管理業務委託 施設の維持管理と動物の健康管理
2 施設の維持補修 老朽化した設備の改修工事 ・リス舎改修 1式 ・小獣舎改修 1式 ・管理棟設備改修 1式

<現状に対する認識>

・経年による施設の老朽化が著しく、来園者からは、より観察しやすく動物の生育環境に即した施設への改修要望が寄せられている。  
・飼育管理業務を行う面からも、より省力化を図った設備が求められている。  
・大規模改修事業の基本構想策定予算が計上できたことから、その策定手法を早急に決定する。

<指標の達成状況>

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	動物園入園者数				
指標の設定理由	心身を育む動物たちと触れ合う状況を直接的に測定できるため				
目標値	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000
実績値	121,604	131,345	130,190		
達成度	67.6%	73.0%	72.3%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	40,167		41,008		47,377		52,680			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	40,167		41,008		47,377		52,680			
② 人件費(千円)	2,877	人工	2,855	人工	2,855	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3				
嘱託	570	0.2	578	0.2	590	0.2				
合計コスト①+②	43,044		43,863		50,232		52,680			
前年度比	—		101.9%		114.5%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	緑対策
-------	-----

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標		4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略			⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	緑対策費

<事業の狙い>

事業計画年度

H26 ~

街中の緑を守り、緑化活動を推進するため、様々な事業を実施しながら、市民に緑化活動の意義を啓発し、緑化に対する意識を高めていくもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 地区、町会、育成ボランティア団体への緑化木等の配布
- 2 市指定保存樹維持管理事業補助金制度の活用、周知  
保存樹木1本につき補助率50%、補助金額上限25万円(申請件数7件)
- 3 市街地緑化推進イベントの開催(10月)  
第36回全国都市緑化信州フェア200日前イベントの実施
- 4 松本市緑化推進委員協議会への支援、協力  
(委員数109名、総会1回、幹事会4回、春・秋講習会、春・秋花苗配布)
- 5 樹勢相談、緑陰講座の開催  
(樹勢相談19件、緑陰講座9回・90人参加)

<現状に対する認識>

・市指定保存樹維持管理事業補助金(交付要綱:平成28年9月21日告示)は目標値を達成しているため、次年度以降も目標値に近い数字となるよう、所有者に周知が必要である。  
・花いっぱい運動と関連づけた緑化活動を実施していくことが必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	市指定保存樹維持管理事業補助金予算執行率				
指標の設定理由	年間通しての補助金事業の状況から市内の緑化の数値が把握できるため				
目標値(千円)	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
実績値(千円)	548	1,345	243		
達成度	43.8%	107.6%	19.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	9,817		8,948		7,983		8,800			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	9,817		8,948		7,983		8,800			
② 人件費(千円)	4,614	人工	4,554	人工	4,530	人工		人工		人工
正規	4,614	0.6	4,554	0.6	4,530	0.6				
嘱託					0					
合計コスト①+②	14,431		13,502		12,513		8,800			
前年度比	—		93.6%		92.7%		—			



事務事業評価票

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標		4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略			⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

H26 ~

公園及び緑化の関係団体に加入することにより、国、県、他市の緑化活動の情報を共有し、業務に活かしていくもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 全国都市公園整備促進協議会  
(負担金 42千円 総会、役員会、公園緑地関係資料集の送付)
- 2 灌水施設組合  
(負担金 12千円 梓川ふるさと公園の水の使用 総会、役員会)

<現状に対する認識>

・会への加入の意義やメリットについて、年度ごとに確認を行う。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	負担金予算執行率				
指標の設定理由	負担金を指標にすることにより、数値が的確に把握できるため				
目標値(千円)	169	54	54	54	54
実績値(千円)	169	54	54	54	
達成度	100.00%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	169		54		54		70			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	169		54		54		70			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託			0		0					
合計コスト①+②	938		813		809		70			
前年度比	—		86.7%		99.5%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	単独アルプス公園整備事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標		5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略			⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独アルプス公園整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H28~H35

心と体の健康づくりの推進に寄与する場を提供するため、総合公園であるアルプス公園の施設整備及び松くい虫による被害木の整備を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1	施設の改築・更新 ・南入口園路舗装改修 1式 ・マレットゴルフ場手すり設置 1式 ・複合遊具ロープネット更新 1式 ・水道施設立入禁止柵改修 1式
2	旧まきば山荘管理地の施設整備 (小段広場設置 一式)
3	松くい虫被害木の除去(森林整備) (松本市ドリームコースター施設内他伐倒処理 182本)

<現状に対する認識>

・子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる公園が求められている。  
・公園施設及び遊具の老朽化が進んでおり、早急な対策が必要となっている。  
・松くい虫被害が急速に広まり公園内の施設に影響を及ぼす恐れがある。  
・松くい虫被害木の除去を計画的に実施する予定であるため、今後、除去を実施した箇所の再整備について検討する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	アルプス公園の施設整備費率				
指標の設定理由	公園施設の整備状況が直接的に把握できるため				
目標値	3.83%	35.69%	54.46%	69.46%	93.62%
実績値	3.86%	35.60%	44.08%		
達成度	100.8%	99.7%	80.9%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	3,459		28,693		16,242		14,640			
国・県										
利用者負担金										
その他			15,600							
一般財源	3,459		13,093		16,242		14,640			
② 人件費(千円)	4,614	人工	4,554	人工	4,530	人工		人工		人工
正規	4,614	0.6	4,554	0.6	4,530	0.6				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	8,073		33,247		20,772		14,640			
前年度比	—		411.8%		62.5%		—			

事務事業評価票

事務事業名	公園施設長寿命化事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	公園施設長寿命化事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H26~H36

既存都市公園施設の老朽化が進んでいる状況で、維持管理におけるライフサイクルコストの軽減が求められているため、老朽化した施設の改築・更新を計画的に行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

改築・更新工事の実施  
策定した長寿命化計画に基づき、施設改築・更新工事を16公園実施

<現状に対する認識>

・公園施設及び遊具の老朽化が進んでおり、早急な対策が必要となっている。  
長寿命化計画未策定公園(157公園中40公園)についても、今後の維持管理を計画的に実施する必要がある。

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり	

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	公園施設の改築・更新の必要な公園数				
指標の設定理由	公園施設の維持管理の状況が直接的に把握できるため				
目標値	70	55	40	31	22
実績値	70	55	40		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	60,009		40,003		50,363		20,000			
国・県	30,000		20,000		25,170					
利用者負担金										
その他										
一般財源	30,009		20,003		25,193		20,000			
② 人件費(千円)	4,614	人工	4,554	人工	4,530	人工		人工		人工
正規	4,614	0.6	4,554	0.6	4,530	0.6				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	64,623		44,557		54,893		20,000			
前年度比	—		68.9%		123.2%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	単独公園整備事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標		5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略			⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独公園整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H28~H34

心と体の健康づくりの推進に寄与する場を提供するため、都市公園の整備、補植等による緑の再整備及び都市計画法第33条により生み出された未整備緑地の整備を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 都市公園及び開発行為緑地の整備  
既存の都市公園の再整備と未整備となっている開発行為緑地の整備  
(都市公園23件、開発行為緑地3件)
- 緑の再整備  
既存施設の緑地帯等に植栽木を補植 (5件)

<現状に対する認識>

・公園施設は樹木の老木化及び遊具の老朽化が進んでいるため、早急な対策が必要となっている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	総事業費の公園整備率				
指標の設定理由	公園施設の整備状況が直接的に把握できるため				
目標値	8.59%	16.66%	32.54%	51.38%	70.57%
実績値	8.82%	16.85%	29.06%		
達成度	102.7%	101.1%	89.3%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	20,314		18,990		34,166		23,700			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	20,314		18,990		34,166		23,700			
② 人件費(千円)	9,228	人工	9,108	人工	9,060	人工		人工		人工
正規	9,228	1.2	9,108	1.2	9,060	1.2				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	29,542		28,098		43,226		23,700			
前年度比	—		95.1%		153.8%		—			

# 住宅課

課長 田中 久登

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	地域住宅等整備事業(社会資本)
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地域住宅等整備事業(社会資本)

<事業の狙い>

事業計画年度

H15~H31

老朽化した市営住宅を建替えることにより、密集した住宅街を解消し、防災上安全な住宅街にするとともに、ユニバーサルデザインに配慮した住宅を建設する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

市営住宅団地建替事業  
(概要)  
1 寿団地建替  
(1) 密集した住宅街の解消、防災上安全な住宅街の確保、ユニバーサルデザインに配慮した住宅  
(2) 国土交通大臣の承認を受けた法定建替事業  
(3) 事業計画  
H15~H22年度 A街区整備 4棟125戸建設(完成)  
H23~H31年度 B街区整備 5棟111戸建設(除去 H26年度実施96戸)  
(4) 事業費  
約25億9百万円  
(5) 平成30年度までの実績  
B街区 3棟 63戸(B-1・2・5棟)完成  
2 芳野町団地建替  
(1) 平成11年度に計画された4棟のうち1棟(40戸)  
(2) 公営住宅等長寿命化計画では、10年後の市営住宅必要戸数が充足されていないため計画を当面凍結

・令和元年度完了に向けて計画的に進捗している。  
・国からの安定的な財源確保が課題になっている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年	令和2年度
① 成果指標(指標名)	寿団地建替戸数				
指標の設定理由	事業の進捗状況を直接的に把握できるため。				
目標値	146	161	188	236	
実績値	146	161	188		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	391,398		353,348		0		0			
国・県	192,986		176,356							
利用者負担金										
その他										
一般財源	198,412		176,992							
② 人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	0	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	0					
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	399,088		360,938		0		0			
前年度比	—		90.4%		0.0%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	地域住宅等整備事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	市営住宅耐震化事業

<事業の狙い>

事業計画年度

H28~H32

松本市耐震改修促進計画及び松本市公営住宅等長寿命化計画に基づき、現在の建築基準法等の耐震関係規定に適合しない耐震不足の市営住宅を順次廃止していくもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 耐震不足等の市営住宅を順次用途廃止するため、当該居住者の住替え先住戸を改修し、居住者の移転費用を負担することにより事業を推進するもの。  
 (1) 移転交渉、移転補償及び移転先住戸の改修  
 ア 移転対象者(対象住宅入居者)  
     二子団地86戸、寿団地1丁目53戸、寿団地3丁目15戸 計154戸  
     イ H28移転戸数  
         二子団地35戸4、寿団地1丁目36戸、寿団地3丁目2戸 計 36戸  
 (2) 耐震不足住宅の解体及び用地測量  
     ア 解体対象戸数 306戸 →302戸  
     イ H29解体戸数 4戸

廃止にあたっては、対象者が移転先として希望する既存市営住宅の改修を行い、順次移転を行っている。  
 今後は移転対象者が希望する団地に空きがない等の理由により、移転が進まない場合も考えられるため、よりきめ細やかな対応により移転先を決定し事業を推進する必要がある。また、解体可能となった団地は速やかに解体、測量を行い跡地利用を検討する。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	年度末における移転完了戸数(戸)				
指標の設定理由	公営住宅の災害に対する備えについての指標となるため				
目標値	84	114	140	150	154
実績値	75	111			
達成度	89.3%	97.4%	0.0%		
② 成果指標(指標名)	年度末における解体戸数(戸)				
指標の設定理由	公営住宅の災害に対する備えについての指標となるため				
目標値		4	1	100	201
実績値		4			
達成度	#DIV/0!	100.0%	0.0%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	68,641		36,028		0		0			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	68,641		36,028							
② 人件費(千円)	25,065	人工	24,504	人工	0	人工		人工		人工
正規	23,070	3	22,770	3	0					
嘱託	1,995	0.7	1,734	0.6	0					
合計コスト①+②	93,706		60,532		0		0			
前年度比	—		64.6%		0.0%		—			

事務事業評価票

部局名	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	市営住宅管理
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	市営住宅管理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられる
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
市長公約	主な取組み
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

26~30

指定管理者制度を導入し、民間の運営ノウハウ等による市民サービス向上を図り、住宅に困窮している低額所得者に低廉な家賃で住宅を提供するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 指定管理者制度の導入による市営住宅管理運営業務  
市営住宅管理戸数 2,917戸(用途廃止予定306戸含む)

(1) 内訳

ア 公営住宅	36団地	281棟	2,727戸(B-5棟27戸増)
イ 特定公共賃貸住宅	6団地	16棟	104戸
ウ 特定目的住宅	20団地	40棟	68戸(稲核一般東2戸用途廃止)
エ 再開発住宅	1団地	1棟	18戸

2 指定管理者  
長野県住宅供給公社  
平成26年4月1日~平成31年3月31日まで

<現状に対する認識>

長野県住宅供給公社が指定管理者として市営住宅の維持管理を行うことにより、市域で公社が管理している県営住宅等を含めた、よりきめ細やかな市民サービスの提供が可能となっている。

市営住宅耐震化事業により、用途廃止予定住宅と移転先住宅を募集停止としているため入居率が低くなっている。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	年度末における入居戸数(戸)				
指標の設定理由	住宅の有効利用について指標となるため				
目標値	2,881	2,892	2,918		
実績値	2,339	2,280	2,240		
達成度	81.2%	78.8%	76.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和1年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	152,573		152,572		153,750		159,900			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	152,573		152,572		153,750		159,900			
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,307	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,307	0.3				
嘱託	0	0	0		0					
合計コスト①+②	154,880		154,849		156,057		159,900			
前年度比	—		100.0%		100.8%		—			



事務事業評価票

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	用地施設管理事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	用地施設等管理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

福寿草ヶ丘団地及び神林住宅用地の未分譲地に繁殖する雑草を除去するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 福寿草ヶ丘団地及び神林住宅用地の未分譲地に繁殖する雑草を除去するための草刈り業務委託

(1) 福寿草ヶ丘団地  
 ア 未分譲地 11区画(全50区画) 約 3,500㎡  
 イ 緑地帯 約 900㎡

(2) 神林住宅用地(H29年度追加)  
 ア 未分譲地 3区画(全13区画) 約 1,100㎡  
 イ 緑地帯 約 150㎡

<現状に対する認識>

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	福寿草ヶ丘団地販売区画数(区画)				
指標の設定理由	分譲地の良好な住環境を維持し販売促進を図る				
目標値	50	50	50		
実績値	39	39	40		
達成度	78.0%	78.0%	80.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値		13	13		
実績値		10	10		
達成度	#DIV/0!	76.9%	76.9%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	108		258		263		270			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	108		258		263		270			
② 人件費(千円)	2,307	人工	3,036	人工	3,076	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	3,036	0.4	3,076	0.4				
嘱託	0	0	0		0					
合計コスト①+②	2,415		3,294		3,339		270			
前年度比	—		136.4%		101.4%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	市営住宅営繕
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	市営住宅営繕費

<事業の狙い>

事業計画年度

H15~

市営住宅の不良個所の修繕及び設備改修等の営繕工事を行うことにより、建物の保全と安全を確保するとともに、住宅の延命化を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 市営住宅の維持管理のため、営繕工事等を行うもの。  
 (1) 市営受託管理戸数 2,919戸(用途廃止予定306戸含む)  
 (2) 内訳

ア 公営住宅	37団地	285棟	2,733戸
イ 特定公共賃貸住宅	6団地	16棟	104戸
ウ 特定目的団地	17団地	35棟	64戸
エ 再開発住宅	1団地	1棟	18戸

2 営繕対象戸数 2,657戸  
 耐震不足等による解体予定住宅の空家戸数235戸

3 既存住宅改修事業  
 風呂釜・量水器・揚水ポンプ等更新、屋根外壁塗装、トイレ様式化等改修

高度成長期に建設された市営住宅の老朽化が進み、既存住宅のストックマネージメントがますます重要となっており、限られた予算の範囲内で計画的な営繕工事に心掛けている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	年度末における営繕対象住宅への入居戸数				
指標の設定理由	計画的な営繕工事の指標となるため				
目標値	2701	2657	2643	2592	2387
実績値	2339	2277	2237		
達成度	86.6%	85.7%	84.6%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	9,966		40,198		60,042		60,080			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	9,966		40,198		60,042		60,080			
② 人件費(千円)	6,523	人工	29,239	人工	32,890	人工		人工		人工
正規	5,383	0.7	28,083	3.7	31,710	4.2				
嘱託	1,140	0.4	1,156	0.4	1,180	0.4				
合計コスト①+②	16,489		69,437		92,932		60,080			
前年度比	—		421.1%		133.8%		—			

事務事業評価票

事務事業名	三世代家族支援事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	三世代家族支援事業

<事業の狙い>

事業計画年度

～

豊かな持続可能なまちづくりを目指し、定住人口の増加やバランスの取れた人口構成の実現及び地域の活性化として、世代間で支え合う機能を維持するため三世代同居・近居を推進するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

三世代同居・近居のための住居取得費用の一部補助、住宅取得費用の一部補助、住宅リフォーム費用及び引越し等の費用支援を行い、本市への転入による定住人口の増加や多世代同居のきっかけづくりを推進する。

- 1 補助金別申請件数
- (1) 住宅取得補助金 (同居・近居のための住宅取得)
    - 同居(補助率1/10 補助限度額50万円) 17件
    - 近居(補助率1/10 補助限度額25万円) 54件
  - (2) リフォーム補助金 (同居のための住宅リフォーム)
    - 同居(補助率1/10 補助限度額20万円) 8件
  - (3) 家族奨励補助金 (同居・近居のための引っ越し費用等)
    - 同居(補助率10/10 補助限度額20万円) 7件
    - 近居(補助率10/10 補助限度額10万円) 6件

※ 市外からの転入及び市分譲(JKタウン、福寿草)を取得した場合には補助限度額にそれぞれ20万円を加算(最大90万円、(3)を除く)

<現状に対する認識>

平成29年6月から開始した制度であり申込件数等についての予測が困難であったが、結果としては想定以上の申請があった。  
申請結果からも、同居・近居を希望する世帯が少なからずあることから、今後も事業のPRに努め、引き続き三世代同居・近居のきっかけづくりを推進する。

部局名	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	1 健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値		30	120	125.0	
実績値		60	92		
達成度		200.0%	76.7%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)		19,947	35,440	13,000	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源		19,947	35,440	13,000	
② 人件費(千円)		人工 3,795	人工 3,845	人工	人工
正規		3,795	0.5	3,845	0.5
嘱託					
合計コスト①+②	0	23,742	39,285	13,000	
前年度比	—	#DIV/0!	165.5%	—	

事務事業評価票

事務事業名	市営住宅ストック総合改善事業
-------	----------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地域住宅等整備事業(社会資本)

<事業の狙い>

事業計画年度	H15~
--------	------

市営住宅の建物・設備の延命及び良質なストック改善を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

市営住宅ストック改善事業  
(概要)

- 受水槽改修  
老朽化した受水槽を計画的に改修するもの。
- 結露対策工事  
市営住宅の結露として外壁の外断熱工事を行うもの。
- 防水保護層改修  
市営住宅の雨漏りを防ぐため屋根、ベランダの防止工事を行うもの。
- 年間事業費  
5千7百万円

- 国庫交付金の状況により計画が変動している。
- 国からの安定的な財源確保が課題となっている。

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み	
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

	総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 成果指標(指標名)	交付金対象事業延べ工事棟数					
指標の設定理由	事業の成果を直接に把握できるため。					
目標値	46	55	61	69	77	
実績値	46	62	68			
達成度	100.0%	112.7%	111.5%			
② 成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	93,132		160,935		57,888		33,440			
国・県	24,187		64,181		23,677		12,870			
利用者負担金										
その他										
一般財源	68,945		96,754		34,211		20,570			
② 人件費(千円)	4,614	人工	7,590	人工	2642.5	人工		人工		人工
正規	4,614	0.6	7,590	1	2642.5	0.35				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	97,746		168,525		60,531		33,440			
前年度比	—		172.4%		35.9%		—			

# 建築指導課

課長 齊木 康利

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	開発許可事務
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	開発行為許可事務費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

1 都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、都市計画マスタープランや立地適正化計画等のまちづくりの将来像を示す内容を実現する手段の一つとして、適正な都市的土地利用の実現を行うもの  
 2 今後発生が予想される大地震時の地盤変動が要因となって、宅地の地すべり被害が生ずるおそれのある大規模盛土造成地の掌握と安全性の確認

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

【事業実施内容】

都市計画法(昭和43年法律第100号)の規定による開発行為等の許可

【活動指標(実績値)】

開発行為等許可等の件数 421件

<現状に対する認識>

人口減少高齢化の進展により、空き家等の発生、将来的なインフラの維持・修繕・更新に係るコストの増大等の懸念が生じている。そのため、コンパクトシティを形成していく必要性が高まっていることから、開発許可制度はまちづくりの将来像を実現する手段として重要となってきている。

大規模盛土造成地の安定性の評価が必要

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	開発行為等許可等の件数 申請行為のため、目標値の設定は出来ない。				
指標の設定理由	-				
目標値					
実績値	387	434	421		
達成度	-	-	-		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	4,013		2,696		230		3,310			
国・県			853							
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,013		1,843		230		3,310			
② 人件費(千円)	33,610	人工	33,256	人工	33,610	人工		人工		人工
正規	30,760	4	30,360	4	30,760	4				
嘱託	2,850	1	2,896	1	2,850	1				
合計コスト①+②	37,623		35,952		33,840		3,310			
前年度比	-		95.6%		94.1%		-			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	建築物耐震補強促進事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	建築物耐震補強促進事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み			○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
5つの重点目標			
松本版総合戦略			

<事業の狙い>

事業計画年度

H28～R3

建築物の地震に対する安全性の向上を図り、地震に強いまちづくりを推進するため、旧耐震基準の木造住宅等の耐震診断実施や耐震改修の補助を行います。  
また、松本市耐震改修促進計画を踏まえ、要緊急安全確認大規模建築物や避難路沿道建築物の耐震化を促進するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

【事業実施内容】

- 1 木造住宅耐震診断、木造住宅耐震改修、避難施設耐震診断等補助
- 2 要緊急安全確認大規模建築物の公表
- 3 避難路沿道建築物調査に基づく義務化路線の検討

【活動指標(実績値)】

- 1 住宅の耐震化率 83.3%

<現状に対する認識>

耐震診断、補強工事のニーズが高まってきているので、一層の周知と予算の確保が必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	住宅の耐震化率				
指標の設定理由	耐震化の状況を直接的に測定できるため				
目標値	83.0	85.0	87.0	89.0	90.0
実績値	82.2	82.7	83.3		
達成度	99.0%	97.3%	95.7%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	18,870		18,085		20,825		54,490			
国・県	11,132		11,693		12,570		28,970			
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,738		6,392		8,255		25,520			
② 人件費(千円)	7,536	人工	7,438	人工	7,536	人工		人工		人工
正規	7,536	0.98	7,438	0.98	7,536	0.98				
嘱託	0	0	0	0	0	0				
合計コスト①+②	26,406		25,523		28,361		54,490			
前年度比	—		96.7%		111.1%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	
-----	-----	----	-------	-----	--

事務事業名	狭あい道路対策事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	狭あい道路対策事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3			市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2			市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	322				5つの重点目標
—	—	—	—		松本版総合戦略

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

<事業の狙い>

事業計画年度

H24~R6

安全で良好な生活環境の向上を図るため、松本市狭あい道路の拡幅整備に関する条例(平成24年条例第29号)に基づき、市街化区域内にある市道の狭あい道路(幅員1.8m以上4m未満)を対象に、建築行為などの際に、後退用地についての協議を義務付け、拡幅整備に必要な経費の一部を市が負担し、狭あい道路の拡幅整備の促進を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

【事業実施内容】

- 1 拡幅整備に必要な経費の一部を市が負担し、狭あい道路整備の促進を図るもの
- 2 建築確認申請時等に協議を行い、道路後退用地の測量登記と物件補償(補助金)後に道路整備を行い、道路環境を改善

【活動指標(実績値)】

- 1 寄附率 31%

<現状に対する認識>

住宅等建築の際に協議を行い、後退用地の寄附をお願いしているが寄附率が伸び悩んでいる状態である。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	寄附率				
指標の設定理由	狭あい道路の拡幅状況を直接測定できるため				
目標値	45.0	46.0	47.0	49.0	50.0
実績値	25	18	31		
達成度	55.6%	39.1%	66.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	19,930		13,821		9,739		25,030			
国・県	3,800		1,707		1,000		8,400			
利用者負担金										
その他										
一般財源	16,130		12,114		8,739		16,630			
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,538	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,538	0.2				
合計コスト①+②	21,468		15,339		11,277		25,030			
前年度比	—		71.5%		73.5%		—			



事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	建築確認事務
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	建築確認事務費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み		○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
	5つの重点目標	
	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

国民の生命、健康及び財産の保護を図るため、建築基準法第6条に定められた敷地、構造、設備等に適合する建築物であることを、建築主からの申請又は通知により建築主事が確認し、確認済証を交付する他、建築許可証の交付等を行う。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

【事業実施内容】

指導審査担当の業務を行うための事務費等

- 費用弁償(建築審査会その他開催に伴う委員等の車賃)
- 普通旅費(職員出張に伴う鉄道賃、宿泊料及び日当)
- 消耗品費(図書追録、各種法令集、各種事務用品、法改正等により業務上必要な参考図書)
- 手数料(税金等窓口収納手数料)
- 借上料(建築情報管理システム用サーバー機器一式)
- 委託料(構造計算適合性判定、建築情報管理システム保守、指定道路図管理システム保守、指定道路図作成)

【活動指標(実績値)】

- 確認済証交付件数 80件
- 許可証交付件数 92件

<現状に対する認識>

確認申請の9割を民間建築確認機関が行う現状の中で、数少ない市の建築確認業務を適切に行い、違反是正、定期報告、民間建築確認機関の監視等の行政庁でなければ出来ない業務に生かして行く事が大切である。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	確認済証交付件数 申請行為のため、目標値の設定は出来ない。				
指標の設定理由	-				
目標値	-	-	-	-	-
実績値	135	108	80		
達成度	-	-	-	-	-
② 成果指標(指標名)	許可証交付件数 申請行為のため、目標値の設定は出来ない。				
指標の設定理由	-				
目標値	-	-	-	-	-
実績値	84	64	92		
達成度	-	-	-	-	-

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,007		1,599		1,850		14,220			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,007		1,599		1,850		14,220			
② 人件費(千円)	42,987	人工	42,428	人工	42,205	人工		人工		人工
正規	42,987	5.59	42,428	5.59	42,205	5.59				
嘱託	0		0		0	0				
合計コスト①+②	47,994		44,027		44,055		14,220			
前年度比	-		91.7%		100.1%		-			

# 城下町整備本部

次長 百瀬 功三

事務事業評価票

事務事業名	松本城周辺整備事業(都市再生)
-------	-----------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	松本城周辺整備事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	23～34
観光客や市民が安心して歩ける道路空間づくりを推進し、防災拠点となる松本城公園や市役所へのアクセス性向上を図る。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 内環状北線整備事業
(1) 用地取得及び条件整備 事業用地の取得(平成30年度までの事業用地取得率 70%)
(2) 用地権利者調査業務
(3) 補償再算定業務
(4) 電線共同溝設計業務
2 市道1056号線整備事業
(1) 地元との合意形成

＜現状に対する認識＞
事業完了年度が平成31年度から平成34年へ延長 防災拠点となる市役所、広域避難地である松本城公園への重要なアクセス道路となっていることから、歩行避難空間の確保、災害車両通行空間の確保が求められている。

部局名	建設部	課名	城下町整備本部	課CD	0860000
-----	-----	----	---------	-----	---------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み		○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業の進捗率				
指標の設定理由	事業費で進捗を管理するため				
目標値	55%	64%	75%	80%	92%
実績値	55%	64%	75%		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	299,132	108,831	95,758	31,170	
国・県	164,520	59,857	92,000	15,540	
利用者負担金					
その他	127,800	46,400	3,500	6,000	
一般財源	6,812	2,574	258	9,630	
② 人件費(千円)	16,235	16,047	15,985		
正規	15,380	15,180	15,100		
嘱託	855	867	885		
人工	2	2	2		
	0.3	0.3	0.3		
合計コスト①+②	315,367	124,878	111,743	31,170	
前年度比	—	39.6%	89.5%	—	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	城下町整備本部	課CD	0860000
-----	-----	----	---------	-----	---------

事務事業名	単独松本城周辺整備事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標		5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略			⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	松本城周辺整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

23~34

観光客や市民が安心して歩ける道路空間づくりを推進し、防災拠点となる松本城公園や市役所へのアクセス性向上を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 内環状北線整備事業
(1) 用地取得及び条件整備 事業用地の取得(平成30年度までの事業用地取得率 70%)
(2) 不動産鑑定業務
(3) 付帯工事
(4) 景観設計業務
(5) 内環状北線管理工事業務
2 市道1057号線整備事業
(1) 用地交渉
(2) 用地測量
(3) 補償算定
3 市道1056号線整備事業
(1) 地元との合意形成

<現状に対する認識>

事業完了年度が平成31年度から平成34年度へ延長  
防災拠点となる市役所、広域避難地である松本城公園への重要なアクセス道路となっていることから、歩行避難空間の確保、災害車両通行空間の確保が求められている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業の進捗率				
指標の設定理由	事業費で進捗を管理するため				
目標値	55%	64%	75%	80%	92%
実績値	55%	64%	75%		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	9,290		194,348		17,224		675,050			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	9,290		194,348		17,224		675,050			
② 人件費(千円)	15,950	人工	15,758	人工	15,690	人工		人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2				
嘱託	570	0.2	578	0.2	590	0.2				
合計コスト①+②	25,240		210,106		32,914		675,050			
前年度比	—		832.4%		15.7%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	城下町整備本部	課CD	0860000
-----	-----	----	---------	-----	---------

事務事業名	国庫補助南・西外堀復元事業
-------	---------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み		〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	国庫補助南・西外堀復元事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H23 ~ H36
--------	-----------

「松本城およびその周辺整備計画」及び、「松本市歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財保護と歴史的景観の維持向上を図る。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 松本城南・西外堀復元事業

(1) 用地取得及び条件整備  
事業用地の取得(平成30年度までの事業用地取得率 56%)

(2) 復元に向けた試掘調査  
試掘箇所: 南・西外堀二の丸側

＜現状に対する認識＞

事業完了年度が平成33年度から平成36年度へ延長  
南・西外堀は、昭和初期までに埋め立てられて現在に至っており、遺構の保護が図られていない。松本城天守を南側及び西側から望むことができず、歴史的景観の向上を図る必要がある。

＜指標の達成状況＞

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 成果指標(指標名)	事業の進捗率					
指標の設定理由	事業費で進捗を管理するため					
目標値	33%	37%	42%	51%	67%	
実績値	33%	37%	42%			
達成度	100.0%	100.0%	100.0%			
② 成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	141,787		126,843		209,600		115,590			
国・県	113,429		101,474		167,670		92,460			
利用者負担金										
その他	28,358		25,369		41,930		23,130			
一般財源										
② 人件費(千円)	15,950	人工	15,758	人工	15,690	人工		人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2				
嘱託	570	0.2	578	0.2	590	0.2				
合計コスト①+②	157,737		142,601		225,290		115,590			
前年度比	—		90.4%		158.0%		—			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	城下町整備本部	課CD	0860000
-----	-----	----	---------	-----	---------

事務事業名	単独南・西外堀復元事業
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み		〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		(1) 松本城南・西外堀復元・内環状北線整備など、松本城を中心としたまちづくり
	—	—			松本版総合戦略

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	単独南・西外堀復元事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H23 ~ H36
「松本城およびその周辺整備計画」及び、「松本市歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財保護と歴史的景観の維持向上を図る。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 松本城南・西外堀復元事業
(1) 用地取得及び条件整備 事業用地の取得(平成30年度までの事業用地取得率 56%)
(2) 補償算定等業務
(3) 買収後事業用地管理業務
(4) 代替地購入及び整備業務

＜現状に対する認識＞
事業完了年度が平成33年度から平成36年度へ延長 南・西外堀は、昭和初期までに埋め立てられて現在に至っており、遺構の保護が図られていない。松本城天守を南側及び西側から望むことができず、歴史的景観の向上を図る必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業の進捗率				
指標の設定理由	事業費で進捗を管理するため				
目標値	33%	37%	42%	51%	67%
実績値	33%	37%	42%		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	53,962	29,415	15,626	15,160	
国・県					
利用者負担金					
その他	53,962	29,415	15,626	15,160	
一般財源					
② 人件費(千円)	16,235	16,047	15,985		
正規	15,380	2	15,180	2	
嘱託	855	0.3	867	0.3	
合計コスト①+②	70,197	45,462	31,611	15,160	
前年度比	—	64.8%	69.5%	—	